

ネットワークデジタルビデオレコーダ

取扱説明書

- ※ このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- ※ 取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
- ※ ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- ※ 製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

VER.1.0

免責について

- 本製品は、犯罪抑止等を意図して製作された商品ですが、犯罪の防止・安全を完全に保証するものではありません。万一被害など発生致しましても、当社は責任を負いかねますのでご了承下さい。
- 弊社は如何なる場合も下記に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ① 誤った使用や、不注意による障害、または製品破損などの発生による損害・被害・不便
 - ② お客様による本製品の分解、修理、改造などに起因する一切の故障または不具合
 - ③ 本製品の故障、不具合に関わらず、画像の表示、録画などできないこと、録画データの消失及び録画などのデータ消失したことで被る損害・被害・不便
 - ④ 第三者の機器との組合せシステムによる不具合及びその結果で被る損害・被害・不便
 - ⑤ 録画データ及び画像データが何らかの理由で使用され、その結果被写体となった個人、団体等からのプライバシー侵害などを理由とするクレーム、損害賠償など
 - ⑥ 本製品に登録した情報、設定などが何らかの原因により、消失してしまうこと
 - ⑦ 本製品に関連して直接、間接を問わず、偶発的、特殊または結果的損害・被害
 - ⑧ ネットワークを経由して第三者による攻撃・ウィルス・データ及び情報の流出・不正操作・妨害・停止などによる不具合及びその結果で被る損害・被害・不便



重要

安全上のご注意

製品をご使用の前に、この「安全上のご注意」を良くお読みください。




- この「安全上のご注意」には、安全に関する重大な事項が記載されています。ここに記載されていることを守って、製品を正しく安全にお使いください。

■ 注意と警告の表記




	警告	この表示は、「死亡または重傷を負う可能性が想定されます。」を示しています。
	注意	この表示は、「損害を負う可能性および物的損害の発生が想定」を示しています。

■ 図記号による表記



以下は注意／警告を意味する図記号です。

	この図記号は、感電注意を示しています。
	この図記号は、発火注意を示しています。
	この図記号は、高温注意を示しています。



以下は禁止を意味する図記号です。



	この図記号は、禁止の行為を示しています。
	この図記号は、機器の分解を禁止していることを示しています。
	この図記号は、触れてはいけないことを示しています。

以下は強制を意味する図記号です。

	この図記号は、必ず行ってほしいことを示しています。
	接地していただくことを示しています。

安全にお使いいただくために

 警告	
本製品を使用するときは、必ず警告、注意事項に従ってください。	

 警告	
装置の安全性は十分配慮して製造されていますが、万一、危険が生じた場合は、電源スイッチを「切」にし、販売会社までご連絡ください。	

 **警告**

電源電圧、周波数、容量などの規格を守ってください。

規格、条件外で使用すると、感電、火災、けがのおそれがあります。



 **警告**

電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものに乗せたりしないでください。また、布でくるんだ状態で使用しないでください。感電や火災の恐れがあります。



 **警告**

付属の電源コードを必ずご使用ください。
火災の原因になることがあります。



 **警告**

ぬれた手でコンセントに触らないでください。
感電やけがの恐れがあります。



 **警告**

煙が出たり、変なにおいや音がしたら、すぐに主電源スイッチを「切」にし、電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、ショートして火災や感電の恐れがあります。



 **警告**

分解、改造、切断、焼却はしないでください。
火災、感電、けがの恐れがあります。



 **警告**

アースが接続してあるか確認してください。アース
接続されていないときは、販売店へ連絡してくださ
い。アース接続されないで万一、漏電した場合は火
災、感電の恐れがあります。



 **注意**

次のような場所では使用、保管しないでください。故障の原因に
なります。

- 平らでなく、不安定な場所。
- 振動が直接伝わる場所。
- 静電気が発生する場所。
- ほこりや湿気の多い場所。
- 温度 5～40℃の範囲を超える場所。
- 湿度 20～90%RH（結露なきこと）の範囲を超える場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 火気の周辺または熱気のこもる場所。
- 薬品類のそば。
- 冷暖房機器のそば。
- 漏水の危険がある場所。
- 漏電の危険がある場所。
- 強い磁気の発生する場所。



 **注意**

装置の上に物を置かないでください。転倒、破損、けがの恐れがあります。



 **注意**

電源コンセントはプラグをもって着脱してください。電源コードを引っ張って抜くと断線して発熱、発火の恐れがあります。



 **注意**

通風孔はふさがないでください。
内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。



 **注意**

指定されたハードディスク以外の製品は使用しないで下さい。
録画されなかったり、故障の原因になることがあります。



 **注意**

定期的に内部の掃除をしてください。
内部の掃除方法については、販売店にご相談下さい。
内部にほこりが溜まったまま長い間掃除をしないと、故障の原因になることがあります。



設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本製品は屋内専用です。

以下の場所へは設置をしないでください。

- 平らでなく、不安定な場所。
- 振動が直接伝わる場所。
- 静電気が発生する場所。
- ほこりや湿気の多い場所。
- 温度 0～40℃、湿度 10～90%RH（結露なきこと）の範囲を超える場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 火気の周辺または熱気のこもる場所。
- 薬品類のそば。
- 冷暖房機器のそば。
- 漏水の危険がある場所。
- 漏電の危険がある場所。
- 強い磁気の発生する場所。

本製品、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所への設置はしないでください。

縦置きはしないでください。本製品は横置き（水平）専用です。通気スペースを十分に確保して設置を行ってください。

本製品の周囲に 5cm 以上の空間を確保して、通気できる環境への設置をしてください。

放熱ファンの吹き出し口近くや通気口を壁やラック、布や紙などでふさがないでください。また、ほこりなどでふさがれないように定期的にお手入れしてください。

ノイズ源は避けて設置を行ってください。

電灯線などのノイズ源にケーブルを近づけると、画像が乱れる場合があります。

そのため、ノイズ源から離しての設置、配線が必要となります。

電源について

付属の電源コードを必ず使用してください。

アースは必ず電源プラグを主電源に接続する前に接続を行ってください。

また、アース接続を外す際は、必ず電源プラグを主電源から切り離して行ってください。

ハードディスクについて

本製品はお客様の指定したハードディスクを別途組み込んで出荷されます。

選択できるハードディスクはカタログに記載しています。

本製品は2枚のハードディスクが搭載でき、最大20TBの記録容量が確保できます。

補修パーツについて

- 放熱ファンは消耗品です。約30,000時間を目安に交換をしてください。交換の際は販売店に依頼してください。
- ハードディスクは消耗品です。約30,000時間を目安に交換をしてください。交換の際は販売店に依頼してください。
- その他の故障については、購入先弊社販売代理店にお問合せください。

目次

1. 初めに	11
1.1. 製品特徴	11
1.2. システム構成.....	11
1.3. 製品構成	13
1.4. システム開始.....	14
1.5. システム終了.....	14
1.6. 名称	15
2. 運用	22
2.1. ユーザーログイン	22
2.2. カメラ登録.....	22
2.3. カメラ削除.....	24
2.4. カメラ設定.....	25
2.5. ライブ画面.....	27
2.6. PTZ操作.....	31
2.7. 録画データ検索.....	33
2.8. スマート検索.....	37
3. メニュー	39
3.1. システム	40
3.2. デバイス	47
3.3. イベント	51
3.4. 録画	55
3.5. ネットワーク.....	57
3.6. バックアップ.....	64
4. ウェブモニタリング	66
4.1. 接続方法	66
4.2. 4.2. ウェブ監視.....	67
5. 故障かな!?	70
6. 補修について	72

1. 初めに

1.1. 製品特徴

本製品は、画像と音声をハードディスク（以下、HDD）に記録することができる、ネットワークビデオレコーダーです。

本製品は、HDMIに対応しているモニターに接続することができ、ライブ映像や録画映像を高品質で表示することができます。また、複数のカメラを同時に表示する、カメラ画像を切り替えるなど、本製品から操作をすることができます。

高精細画像監視

4K画像（3,840×2,160）を30枚/秒の画像にも対応し、録画画像やライブ画像を用途に応じて高精細に表示することができます。

簡単操作

本製品はマウスやリモコンでモニター画面を見ながら簡単に操作ができます。

パソコン（以下、PC）を使わず設定が可能です。

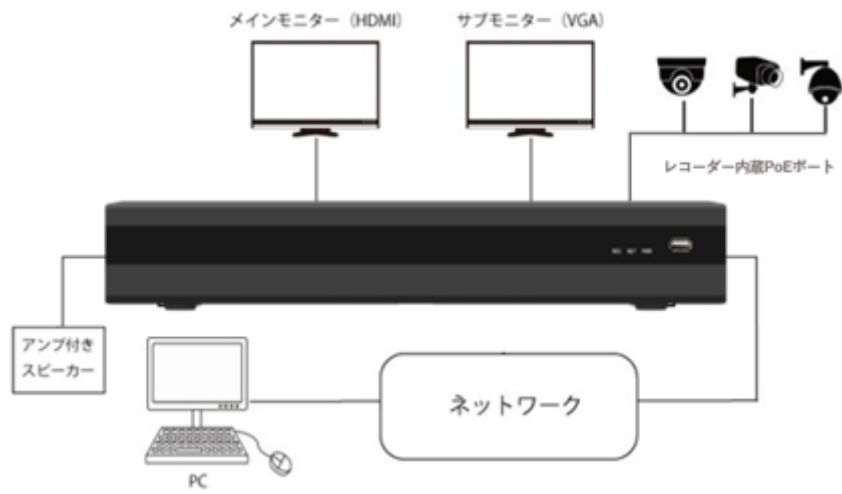
また、カレンダー検索を使用して、録画映像を簡単に検索することもできます。

ターゲット検索機能搭載

本製品にはターゲット検索機能が搭載されています。

時間ごとに区切った静止画像を一覧で表示し、目視でターゲット映像を絞り込むことが可能です。

1.2. システム構成



※推奨カメラ、HUBは総合カタログの20ページを参照してください。

1.3. 製品構成

システムに同梱される付属品を確認してください。不足がある場合、販売店にお問い合わせください。

梱包箱は保守対応時に使用する場合があります。

品名	イメージ	数量
電源ケーブル		1セット
マウス 乾電池（テスト用）		1セット
ネジ		1セット

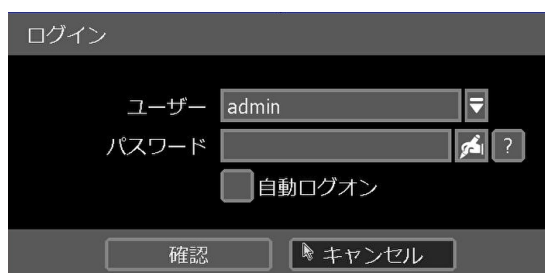
※ 上記の付属品は製品の改良のため、予告なしに変更する場合がございます。

※ 上記の付属品は機種によって構成品が異なる場合がございます。

1.4. システム開始

カメラ、モニター、マウスなどの周辺機器をNVRに接続したら、アダプターを背面パネルの電源ジャックに接続して電源を入れます。

ログインするには、画面の任意の場所を右クリックし、ポップアップ画面にユーザ名とパスワードを入力します。NVRで設定できる管理者アカウントは 1つだけです。'admin'とマークされた変更不可能なユーザID が割り当てられます。デフォルトのパスワードは 'qawsed2007@' です。管理者アカウントは、NVRとその設定可能なパラメータにフルアクセスでき、新しいユーザを作成したり、新しいユーザアカウントに権限を割り当てることもできます。

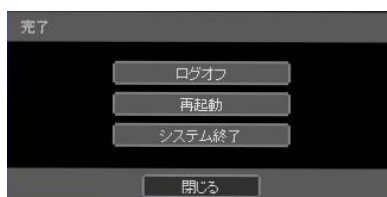


-
- ✕ 1) パスワードを設定した後、パスワードを忘れないように注意してください。
 - モ パスワードを忘れてしまった場合、販売店にお問い合わせください。
 - 2) 自動ログイン、自動ログオフ機能があります。
-

1.5. システム終了

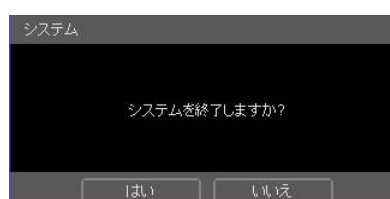
システムを終了するにはライブ画面下に表示されるメニューバーの『終了処理』をクリックした後、ポップアップ画面の『システム終了』をクリックしてください。

※システム終了中に電源プラグを抜かないでください。ハードディスクが損傷する恐れがございます。



パスワードを入力した後、『確認』をクリックしてください。

“システムを終了しますか?”というメッセージが表示されたら『はい』をクリックして、システムを終了します。



1.6. 名称

1.6.1. 前面パネル



**イメージ写真は機種によって異なります。

① USBポート

付属のマウスを接続して使用することが可能です。また、外部記録装置（USBメモリ）を接続し、HDDに保存された録画映像及び音声をコピーできます。

※USBメモリを使用して、本体ソフトウェア更新、設定値のインポート、エクスポートも可能です。

② 状態表示ランプ

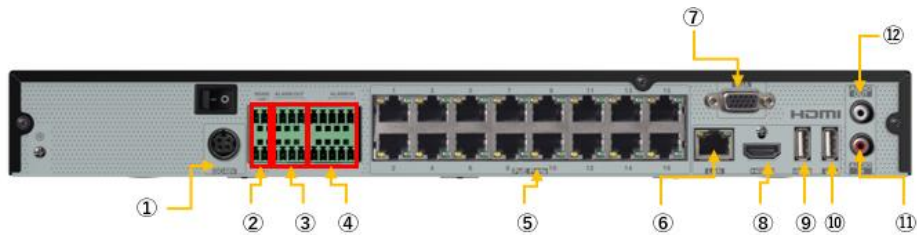
PWR : 電源が入っている時に点灯（青）します。

REC : 録画中に点灯（青）します。

NET : 外部ネットワーク接続中に点灯（青）します。

1.6.2. 後面パネル

・16ch



① 電源端子

付属の電源コードを接続します。

② RS-485端子

PTZカメラやRS-485制御機器のRS-485制御線を接続します。

③ ALARM OUT端子

センサーなどの外部アラーム機器の制御線を接続します。

④ ALARM IN端子

外部機器へのアラーム出力線を接続します。

⑤ CAMERAポート (RJ-45)

カメラ用ネットワークポート。本機とカメラやPCを接続します。

10 / 100 Mbps帯域に対応します。

⑥ LANポート (RJ-45)

カメラ/PC用ネットワークポート。本機とカメラやPCを接続します。

⑦ 映像出力端子 (VGA)

D-Sub15ピン対応モニターを接続します。ライブ、再生画像や本機設定画面を表示します。

⑧ 映像出力端子 (HDMI)

HDMI対応モニターを接続します。ライブ、再生画像や本機設定画面を表示します。

⑨ USB3.0ポート

付属のマウスを接続して使用することが可能です。部記録装置 (外付けDVD、USBメモリ) を接続し、HDDに保存された録画映像及び音声をコピーできます。

※USBメモリを使用して、本体ソフトウェア更新、設定値のインポート、エクスポートも可能です。

⑩ USBポート2.0

付属のマウスを接続して使用することが可能です。

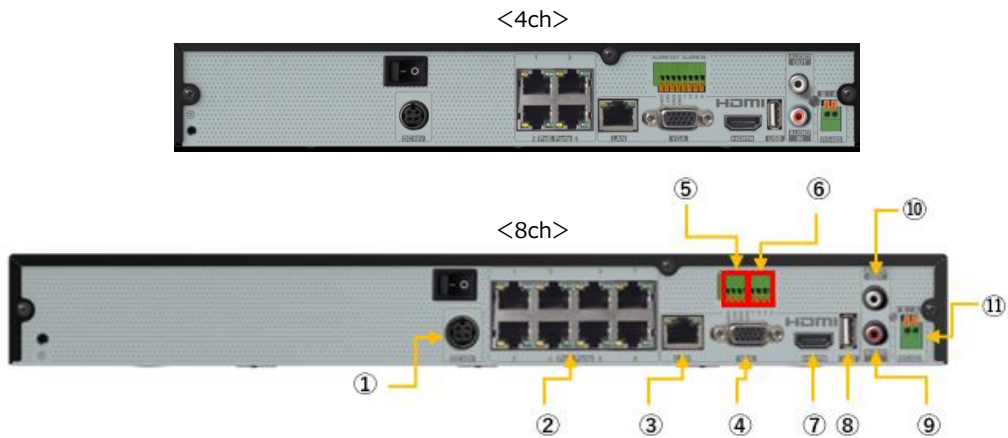
⑪ AUDIO IN端子

集音マイクなどを接続します。遠隔(遠隔ソフト及び携帯アプリ)との両方向での音声対話の際に使用します。

⑫ AUDIO OUT端子 (RCAピンジャック)

アンプ付きスピーカーなどを接続します。メインモニターに出力する音声と同じ音声を出力します。

・ 8ch/4ch



- ① 電源端子
付属の電源コードを接続します。
- ② CAMERAポート (RJ-45)
カメラ用ネットワークポート。本機とカメラやPCを接続します。
10 / 100 Mbps帯域に対応します。
- ③ LANポート
カメラ/PC用ネットワークポート。本機とカメラやPCを接続します。
- ④ 映像出力端子 (VGA)
D-Sub15ピン対応モニターを接続します。ライブ、再生画像や本機設定画面を表示します。
- ⑤ ALARM IN端子
センサーなどの外部アラーム機器の制御線を接続します。
- ⑥ ALARM OUT端子
外部機器へのアラーム出力線を接続します。
- ⑦ 映像出力端子 (HDMI)
HDMI対応モニターを接続します。ライブ、再生画像や本機設定画面を表示します。
- ⑧ USB3.0ポート
付属のマウスを接続して使用することが可能です。
部記録装置 (USBメモリ) を接続し、HDDに保存された録画映像及び音声をコピーできます。
※USBメモリを使用して、本体ソフトウェア更新、設定値のインポート、エクスポートも可能です。
- ⑨ AUDIO IN端子
集音マイクなどを接続します。遠隔(遠隔ソフト及び携帯アプリ)との両方向での音声対話の際に使用します。

⑩ AUDIO OUT端子 (RCAピンジャック)

アンプ付きスピーカーなどを接続します。メインモニターに出力する音声と同じ音声出力します。

⑪ RS-485端子

PTZカメラやRS-485制御機器のRS-485制御線を接続します。

※ポート・端子等、間違った接続をしても破損しない構造となっていますが、システムが正常に動作しませんので、間違いのないよう接続を行ってください。

●保守点検について

定期的にファン(筐体左側面)周辺の埃などを清掃してください。

定期的に通気口(筐体右側面)周りの埃などを清掃してください。

電源端子、ポート、端子に専用ケーブルなどが確実に差し込まれているか確認してください。

1.6.3. ライブ画面のメニューバー

ライブ画面上でマウスポイントを画面下に移動するとメニューバーが表示されます。



メニュー

メニュー設定画面に入る事ができます。

画面モード

分割画面を切替える事ができます。

自動切替

画面を自動で順次切替える事ができます。

※最大分割画面表示時は選択する事が出来ません。

チャンネル

該当のチャンネル番号をクリックすると、1画面に切替える事ができます。

緊急録画

緊急録画を開始します。緊急録画を中断したい場合、再度アイコンをクリックしてください。

バックアップ

録画データをUSBメモリにバックアップする事ができます。

再生

直近の録画データを再生する事ができます。

※約10秒前のデータを再生します。

検索

検索メニュー画面が表示されます。用途に合わせた検索モードを選択する事ができます。

終了処理

システムを終了する事ができます。その他、再起動/ログオフを選択する事ができます。

メニューバー固定トグル

メニューバーを固定する事ができます。

固定した場合、メニューバーが常に表示されます。

メニューバーを固定しない場合、マウスポイントを画面下に移動するとメニューバーが表示されます。

1.6.4. 再生画面のタイムバー

再生モードに入ると、下図のように画面下にタイムバーが表示されます。



選択チャンネル表示 **01**

現在、選択されたチャンネル番号を表示します。

タイムバー



選択されたチャンネルの録画データ(24時間分)をタイムバーで確認することができます。

録画映像の有無及び録画モード(色)を確認することができます。

再生表示線(赤線)は、現在再生している位置報を表示します。

再生表示線をマウスで動かして再生したい時間帯に移動することができます。

前日/翌日ボタン

📅📅 : 現在再生している時間帯の前日、翌日に移動します。

再生制御ボタン

⏮ : 逆再生(x99/x64/x32/x16/x8/x4/x2)

⏪ : コマ戻し

⏸ : 停止

▶ : 再生

⏩ : 次へ

⏭ : 早送り(x2/x4/x8/x16/x32/x64/x99)

X1 : 現在の再生速度を表示

画面分割モードボタン

分割画面を切替えることができます。

簡単バックアップ開始

録画データをUSBメモリにバックアップする事ができます。

『簡単バックアップ開始』をクリックしてから、再度クリックするまでの時間が自動でバックアップ項目に反映されます。

検索ボタン

検索メニュー画面が表示されます。用途に合わせた検索モードを選択する事ができます。

再生モード終了ボタン

再生モードを終了して、ライブモードに切替える事ができます。

メニューバー固定トグルボタン

メニューバーを固定する事ができます。

固定した場合、メニューバーが常に表示されます。

メニューバーを固定しない場合、マウスポイントを画面下に移動するとメニューバーが表示されます。

2. 運用

2.1. ユーザーログイン

システムの電源を入れてください。

システムが起動したら、ユーザーID、パスワードを入力してログインします。

初期デフォルトのパスワードは 'qawsed2007@' です。

- メモ
- 1) 正しいユーザーIDとパスワードが入力されるまでログイン画面が表示されます。
 - 2) 自動ログインにチェックを入れた場合、それ以降ログインする場合、ログイン画面は表示されません。

2.2. カメラ登録

同一ネットワーク(ローカルネットワーク内)につながっているIPカメラを検索し登録することができます。当機種はPoEポートが内蔵されており、電源接続なしにIPカメラをLANケーブルのみで接続することができます。

また、LANケーブルのみで接続する為にはカメラのIP設定をDHCPにする必要があります。

2.2.1. カメラ登録方法

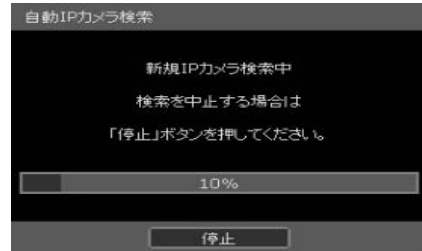
下記の3つの方法でカメラを登録することができます。

メニュー->>録画->>カメラ登録/管理で設定画面に移動します。

カメラ	ON/OFF	プロトコル	IPアドレス	モデル	ブランド	設定	削除
1	ON	ONVIF	192.168.100.151	Camera	Camera	設定	X
2	ON					設定	X
3	ON					設定	X
4	ON					設定	X
5	ON					設定	X
6	ON					設定	X
7	ON					設定	X
8	ON					設定	X

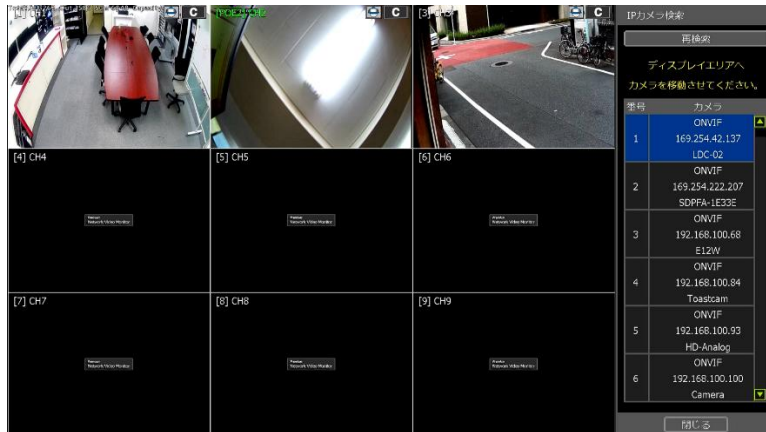
2.2.1.1 自動カメラ登録(簡単設定)

- ① メニュー>>録画>>カメラ登録/管理>>簡単モード>>自動カメラ登録
 - ② 『開始』をクリックすると同一ネットワーク内にある全てのカメラを検索し、自動で登録を行います。
- ※IPカメラのID及びパスワードを入力する必要があります。



2.1.1.2. DRAG&DROP方式カメラ登録 (簡単設定)

- ① メニュー>>録画>>カメラ登録/管理>>簡単モード>>DRAG&DROP方式カメラ登録
 - ② 『開始』をクリックしてカメラを検索します。
 - ③ 検索されたカメラが画面の右側にリストアップされます。配置したい位置にリスト上からカメラをDRAG&DROPして登録を行います。
- ※IPカメラのID及びパスワードを入力する必要があります。



2.1.1.3. 手動設定 (詳細設定)

- ① メニュー>>録画>>カメラ登録/管理>>詳細設定
 - ② 『検索』をクリックして、カメラを検索します。
 - ③ 検索結果が表示されたら、登録するカメラのチャンネルを選択した後、『ストリーム読み取り』をクリックして、カメラのストリーム情報を読み込みます。
- ※IPカメラのID及びパスワードを入力する必要があります。
- ④ 『カメラ情報』をクリックすると、カメラ情報を確認することができます。
 - ⑤ 『適用』をクリックすると、選択したカメラの登録が完了します。



2.3. カメラ削除

登録したカメラを削除する事ができます。



- ① メニュー>>録画>>カメラ登録/管理>>詳細設定
- ② リスト上に登録されているカメラが表示されます。
- ③ Non-PoE カメラの場合
“削除”が常に有効になっています。削除したいカメラを×ボタンをクリックして削除する事ができます。
- ④ PoEカメラの場合
NVRのPoEポートからカメラ(LANケーブル)を外してください。
外す事によって、リスト上の×ボタンが活性化され、削除する事ができます。

2.4. カメラ設定

登録されているカメラの設定を変更する事ができます。

2.4.1. 個別カメラ設定

- ① メニュー>>録画>>カメラ登録/管理>>詳細設定
- ② リスト上に登録されているカメラが表示されます。
- ③ 『設定』をクリックすると、カメラ設定画面が表示されます。

※ライブ画面からポップアップメニューの中にあるカメラ設定からも変更する事ができます。

- ④ 『ストリーム読み取り』をクリックして、カメラ情報を読み込みます。
- ⑤ 『設定』をクリックすると、設定画面に移動して、各設定を行う事ができます。
※COFEC、解像度、フレーム数、ビットレート、画質、GOP、H.264 I-参照技術
※1920×1080の画像サイズで16(9)CH全て5FPS以上(最大30FPS)での連続記録が可能です。

・ GOPとは:

Iフレームを作る間隔を意味します。
フレーム設定値と近い数値を入力してください。

・ H.264 I-参照技術とは:

ライブで表示するフレーム数と録画保存する
フレーム数をそれぞれ設定する事ができます。

× H.264 I-参照技術の設定例

例 1) FPS: 30, GOP: 30, I-Reference: 4x → 約7.5fps録画、ライブは30fps

例 2) FPS: 15, GOP: 30, I-Reference: 4x → 約3.7fps録画、ライブは15fps

※ I-参照技術に対応していないカメラは設定出来ません。

2.4.2. 簡単設定（カメラ一括設定）

複数台のカメラを同じ設定に一括適用する事ができます。



- ① メニュー>>録画>>簡単設定
 - ② 登録されているカメラの機種の中から設定する“モデル”を選択します。
 - ③ 『ストリーム読み取り』をクリックして、『情報取得』をクリックすると、カメラの設定が表示されます。
 - ④ 設定を入力後、『保存』をクリックすると、接続されている同じモデルのカメラ設定値が一括適用されます。
- ※ 『全てのF/Wアップグレード』でカメラのF/Wのアップグレードができます。

2.5. ライブ画面

2.5.1. チャンネル選択

ライブ映像を分割画面(1,4,6,8,9,10,13,16)で表示する事ができます。

※10,13,16分割は16ch NVRのみとなります。

※記録中でも操作が可能です。

初期設定は分割画面で表示をします。

単画面に表示したい場合は単画面表示したいチャンネル番号をクリックします。

単画面上で再度クリックすると、分割画面に戻ります。

メニューバーの“分割モード”または、チャンネルボタン(1~16)を利用して操作する事もできます。



2.5.2. アイコンの説明

各チャンネル画面の右上に表示されるアイコン		全画面の右上に表示されるアイコン	
	連続録画		HDDが認識されない
	モーション録画		緊急録画中
	センサー録画		PTZコントロール中
	連続録画+モーション録画		温度超過の警告
	連続録画+センサー録画		シーケンスモード中
	モーション+センサー録画		デジタルズーム中
	緊急録画		
	センサー検知		
	モーション検知		
	音声チャンネル		
	PTZモード操作可能		
	POS		

- メ ライブ画面の右上に録画アイコンが表示されない場合、録画をしていない事を意味します。
モ 録画設定メニューやカメラの接続状態などをご確認ください。

2.5.3. ポップアップメニュー

ライブ画面上でマウス右クリックすると下図のようにポップアップメニューが表示されます。

画面モード

分割画面を切替える事ができます。

次のチャンネルへ

表示されているチャンネルの次のチャンネルを表示させます。

分割画面表示中の場合、次の分割画面を表示します。

(例: 1~4チャンネルの4分割表示後、5~8チャンネルの4分割表示)

※16(9)分割画面表示時は選択する事ができません。

自動切換

画面を自動で順次切換える事ができます。

分割画面の場合、次のチャンネルの分割画面が表示されます。

※16(9)分割画面表示時は選択する事ができません。

デジタルズーム

マウスのドラッグやホイールを使用して画面の拡大や縮小をする事ができます。

※単画面表示中のみ使用する事ができます。

拡大された状態からマウスドラッグで位置を移動する事ができます。

右クリックで通常画面に戻ります。

カメラ画質調節

明るさ、対比、色などの画質調節をする事ができます。

※カメラ機種によって設定出来る項目が異なります。

PTZ

PTZ(パンチルトカメラ)設定ができます。

カメラ設定

カメラの設定を行う事ができます。



画面フリーズ

画面を停止させる事が出来、画面フリーズの文字が画面右下に表示されます。

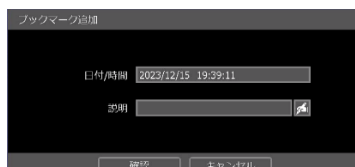
※時間表示はそのまま進行します。

再度、『画面フリーズ』をクリックすると、解除されます。

ブックマーク追加

データ再生または、ライブ画面上で、ブックマーク(お気に入り)したい時に『ブックマーク追加』をクリックします。任意で説明を記入して、『確認』をクリックして、ブックマーク登録を完了します。ブックマーク登録したデータは、検索>>ブックマークに保存されます。

A



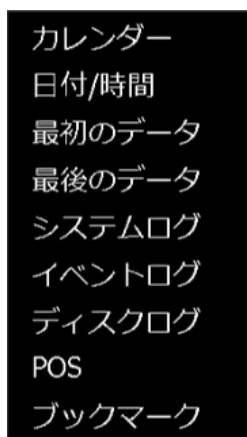
再生

直近の録画データを再生する事ができます。(10秒前~5分前)

検索

録画データを検索する事ができます。

検索モードは、カレンダー、日付/時間、最初のデータ、最後のデータ、システムログ、イベントログ、ディスクログ、POS、ブックマークの中から選択する事がで



スマート検索

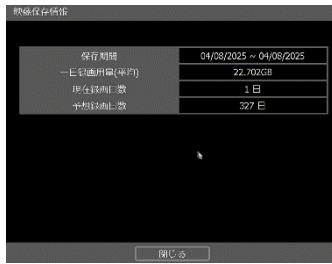
時間ごとに区切った静止画像を一覧で表示し、目視でターゲット映像を絞り込むことが可能です。ターゲット検索、高度なプレビュー検索の中から選択して、映像を再生する事ができます。

特殊カメラ検索

専用の特殊カメラと連動して検索する事ができます。スマートイベント、オブジェクト検出、人数カウント、熱画像イベントの中から選択する事ができます。

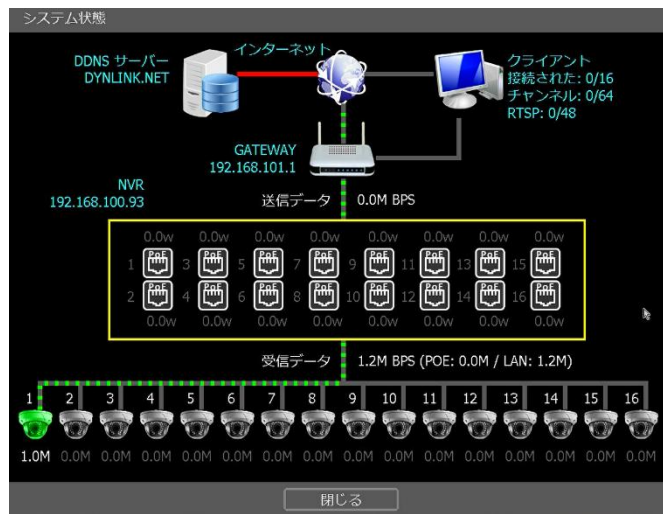
映像保存情報

録画に関する情報(保存期間、一日録画容量(平均)、現在保存日数、予想保存日数)を確認する事ができます。



システム状態

ネットワークの接続状態、接続されたクライアント数、POEカメラの給電状態を確認することができます。緑色はPOEカメラの給電やネットワーク通信が正常であることを表します。



分析



[システム性能モニター]



[ネットワークモニター]



[PoEモニタリング]

イベントモニター (カメラ)

カメラID	ONOFF	RTSP	HTTP	プロトコル
CH1	0	0	0	0
CH2	0	1569	0	0
CH3	0	689	0	0
CH4	0	711	0	0
CH5	0	244 (H)	0	0
CH6	0	0	0	0
CH7	0	0	0	0
CH8	0	0	0	0
CH9	0	0	0	0

[イベントモニター]

自己診断

システム

- 1) モデル: PNR-3008
- 2) バージョン: 1.5.4.0
- 3) IPアドレス: 192.168.100.141
- 4) MACアドレス: 90DA-6A23-9128(LAN)/90-DA-5A-23-91-2C(POE)

ネットワーク

- 1) イーサネット: 接続
- 2) クライアント: 接続された数: 0
- 3) DDNS: 実行されていません。
- 4) P2P: 実行されていません。

ストレージ

ハードディスク 1

- 1) モデル: WDC WD40PURZ-85A
- 2) 容量: 3724.0 GB
- 3) 使用率: 2942.5 GB
- 4) S.M.A.R.T.: 実行中
- 5) シリアル: WD-WM42031N751

[自己診断]

※システム性能モニター：CPU/メモリ/録画(ビットレート)の使用量をグラフで表示します。

※ネットワークモニター：各カメラのネットワークデータ量(受信・送信)をグラフで表示します。

※イベントモニター：機械に問題があった際に、開発者が確認出来るための機能です。

※自己診断：NVR、カメラ、ハードディスク、ネットワーク情報を表示します。

※PoEモニタリング：PoEポートの消費電力を表示します。

メニュー

メニュー設定画面に移動します。NVR及び、カメラの設定を行います。



2.6. PTZ操作

ポップアップメニューの『PTZ』をクリックすると、PTZモードに移動します。

PTZカメラが接続されているチャンネルが単画面で表示されている時のみ使用する事ができます。

PTZモードに移動すると、PTZアイコンが画面の右下に表示されます。



PTZ操作

マウスクリックをした状態で、マウスポイントを上下左右に移動して、パン・チルト動作を行います。

画面の中心部(+ 表示)からマウスを遠くに動かすほど、カメラの移動速度が速くなります。

✕ PTZ機能はマウス、IRリモコン、キーボードコントローラーで操作可能です。

モ

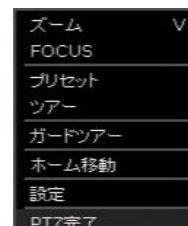
ズーム/FOCUS

マウス右クリックでポップアップメニューを表示して、ズームかフォーカスにチェックを入れて操作します。

マウスホイールを上下に動かしてズームイン/ズームアウトを操作する事ができます。

[上：ズームイン(拡大)、下：ズームアウト(縮小)]

※ポップアップメニュー表示時は、ズームにチェックが入っています。



プリセット

登録したプリセット番号を入力すると、設定した位置に移動します。

プリセットは最大255個まで登録できます。

※ポップアップメニューの『設定』でプリセットを事前に登録する必要があります。

ツアー

全てのプリセットを巡回させます。

ガードツアー

設定したプリセット番号だけを巡回させます。

注 プリセット位置別に保持時間を設定できます。ただし、PTZの種類によって設定した時間内に

意 設定した位置に移動しない場合があります。

ホーム移動

カメラ位置を常に映しておきたい位置(ホームポジション)にカメラを移動させます。

※カメラ本体でホームポジションの設定が必要な機種もあります。

設定

パン・チルト・ズームの操作や動作確認、プリセットの登録・削除ができます。

プリセットの設定を変更した場合、必ず『保存』をクリックしてください。



PTZ完了

「PTZ完了」をクリックすると、ライブ画面に戻ります。

2.7. 録画データ検索

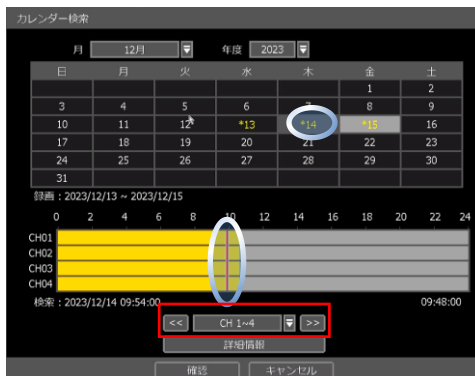
用途に合わせた検索モードを選択することができます。

- ☒ 下記の方法で検索メニューを呼び出します。
- ☒ ① ライブ上でマウス右クリックをすると“ポップアップメニュー”が表示されます。ポップアップメニュー上で『検索』をクリックして検索モードを選択します。
- ② ライブ画面上でマウスポイントを画面下に移動するとメニューバーを表示されます。『検索』をクリックして、検索モードを選択します。



2.7.1. カレンダー検索

検索する日付と時間をカレンダーから選択して再生します。



検索する日付を選択後、タイムバーの赤の線を検索したい時間に移動させます。

タイムバーの色は録画モード設定によって異なります。

タイムバーは4つのチャンネルごとにグループで分けられていて、赤枠にあるチャンネル選択で移動することができます。

日付の前に“*”表示がある日付は録画データがある事を表します。

2.7.2. 日付/時間検索

検索する日付と時間を直接入力して再生します。

年/月/日と時間を選択し『確認』をクリックすると、記録映像が再生されます。

指定した年/月/日に映像記録が無い場合は、「保存されたデータなし」の表示が画面に表示されます。

日付/時間検索

月 12月 年度 2023

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	*13	*14	*15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

時間(時/分/秒) 19 : 18 : 46

確認 キャンセル

2.7.3. 最初のデータ

『最初のデータ』(33頁)を指定すると、録画データの中で、最も古いデータから再生します。

2.7.4. 最後のデータ

『最後のデータ』(33頁)を指定すると、録画データの中で、最も新しいデータから再生します。

2.7.5. システムログ

システムログ(全体、システム、設定、ネットワーク)の機器異常確認ができます。

システムログ

2023/12/15 ~ 2023/12/15 検索

全て システム 設定 ネットワーク

日付 2023/12/15 1/1

連号	時間	ユーザー	イベント
1	19:19:51	admin	システム 設定 終了
2	19:19:48	admin	システム 設定 開始
3	19:14:13	admin	システム 設定 終了
4	18:54:03	admin	バックアップ 終了: CH 4
5	18:53:55	admin	バックアップ 開始: 2023/12/15 18:31:00~20:
6	18:44:30	admin	バックアップ 終了: CH 1
7	18:44:16	admin	バックアップ 開始: 2023/12/15 18:31:00~20:
8	18:43:52	admin	PoEリセット(全ポート) (SYS)
9	18:43:48	admin	バックアップ 開始: 2023/12/15 18:00:00~20:
10	18:31:16	admin	PoEリセット(全ポート) (SYS)

システム 設定 終了

スキャン 保存

閉じる

※電源断と電源再起動に関して下記画面上で確認できます。

1. 検索する日付を選択します。
2. 検索するログの種類を選択します。(全体、システム、設定、ネットワーク)
3. 『検索』をクリックすると、ログの内容及び発生時間を確認する事ができます。
4. USBメモリを挿入後、『スキャン』をクリックし、『保存』をクリックすると、システムログデータをUSBメモリに保存する事ができます。
5. システムログデータの確認方法
USBメモリをPCに挿入すると、“system_〔ログを検索した日付〕.log”の形式で保存されます。
※フォルダー名の初期値はNVR1です。メニュー>>システム>>情報>>サイト名で変更する事ができます。

2.7.6. イベントログ

イベント発生履歴を検索することができます。



1. 検索する日付を選択します。
2. 検索するログの種類を選択します。
(全て、センサー、モーション、映像信号損失、DISK FULL、温度イベント、キーワード)
3. 『検索』をクリックすると、イベントログの内容の種類を、イベントログの内容及び発生時間を確認することができます。
4. USBメモリを挿入後、『スキャン』をクリックし、『保存』をクリックすると、イベントログデータをUSBメモリに保存することができます。
5. イベントログデータの確認方法
USBメモリをPCIに挿入すると、“event_〔ログを検索した日付〕.log”の形式で保存されます。
※フォルダー名の初期値はNVR1です。メニュー->>システム->>情報->>サイト名で変更できます。

2.7.7. ディスクログ



ハードディスクのSMARTエラー情報が表示されます。

ERR40000~59999 : ハードディスクマウント失敗

ERR50000 : フォーマットされていないハードディスク

✕ システムログ、ディスクログは1ページごとに10個、イベントログは24個のログデータを表
モ 示します。◀▶ ボタンを使いページの移動ができます。

2.7.8. POS

現在のバージョンでは使用出来ません。

2.7.9. ブックマーク（お気に入り追加）



ポップアップメニューの『ブックマーク追加』で追加されたブックマークデータを変更、削除する事ができます。

2.8. スマート検索

時間ごとに区切った静止画像を一覧で表示し、目視でターゲット映像を絞り込む事ができます。

ターゲット検索、高度なプレビュー検索の中から選択して、録画データを再生する事ができます。

2.8.1. ターゲット検索

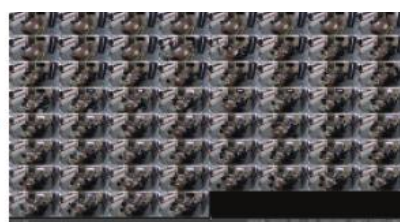
検索したいチャンネルと日付を選択して『検索』をクリックすると、その日の24時間のデータが1時間間隔で24分割(静止画)表示されます。

24分割表示のデータ中から詳細データを確認したい間隔でクリックすると、1分単位の静止画(最大60分割)が表示され、さらに細かく確認する事ができます。

分単位で表示された静止画をさらにクリックすると、その時間帯に録画された全てのチャンネルで再生されます。



1日データ (24分割表示)

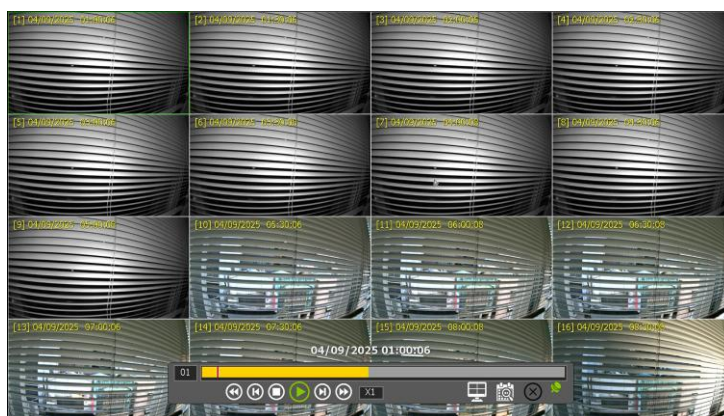


1時間データ (60分割表示)

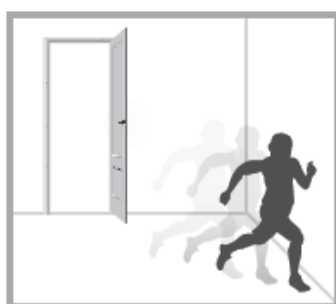


2.8.2. 高度なプレビュー検索

検索したいチャンネルと日付/時間を選択して『検索』をクリックすると、指定した間隔(1分~1日)で再生を開始します。



▶ 2017/1/10 14:00



▶ 2017/1/10 15:00



▶ 2017/1/10 16:00

3. メニュー

メニューバーの“メニュー”アイコンまたは、ポップアップメニューの『メニュー』をクリックして、メニュー設定画面に移動します。



主要区分	詳細区分
システム	情報
	ユーザー
	ディスプレイ
	ハードディスク
	設定
デバイス	カメラ
	オーディオ
	PTZ
	POS
	キーボード
イベント	センサー
	カメライベント
	その他イベント
録画	カメラ登録/管理
	録画日程
	簡単設定
ネットワーク	ネットワーク
	DDNS
	通知
	モバイル通知
	P2P
バックアップ	バックアップ

3.1. システム

3.1.1. 情報

情報	ユーザー	ディスプレイ	ハードディスク	設定
サイト名	NVR1			
キーボード ID	1			
リモコンID	0			
日付/時間	04/08/2025 16:23:07			
言語	日本語			
バージョン	FNR-3116 1.5.5.4(HW:0.0.0)LPR			アップグレード
IPアドレス	192.168.100.93			
自動IP	169.254.5.141			
MACアドレス	90:DA:6A:35:D9:F2(LAN)/90:DA:6A:35:D9:F3(POE)			
システムモニター	システム状態		システム性能モニター	
	<input checked="" type="checkbox"/> キーボード音			

本体名



アイコンをクリックすると、仮想キーボードが表示され、本体名を入力することができます。

キーボードID

キーボードコントローラーでシステムを制御するためのキーボードIDを設定することができます。

※メニュー>>デバイス>>キーボードでキーボードコントローラーの機種とボーレートを設定してください。

リモコンID

リモコンでシステムを制御するためのリモコンIDを設定することができます。

1つのリモコンで複数台のシステムを操作することができます。各NVRシステムにID番号を振り分けて設定する事で制御可能になります。

(システムが出荷される時の初期IDは0番です。)

✕ ID 設定方法

- モ 1) IRリモコンのID選択ボタン(Ⓜ)を5秒間長押しします。
2) 設定したいID番号を押します。ID番号の最後の数字を長押しします。

(IDは000~255までの範囲)

例:0=000, 23=023, 123=123

日付/時間

現在の日付/時間を手動で設定する事ができ、時間同期サーバーを通して自動で日付と時間を合わせる事ができます。



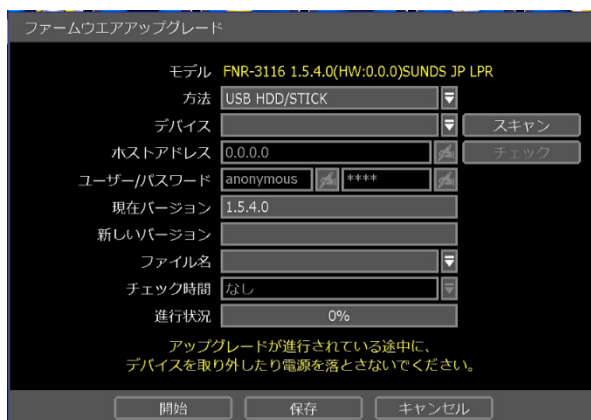
- ◆ タイムゾーン：日本のタイムゾーンは(GMT +9 OSAKA, SAPPORO, TOKYO)です。
- ◆ 時間同期モード/周期：
NTP SERVERを選択するとNTPサーバー(初期値：pool.ntp.org)を利用して時間同期を行います。
同期化する周期を選択します。
※別途タイムサーバーと連動して、時間同期をする事も可能となります。
ローカルネットワークの場合、クライアントまたはサーバーを選択してください。

言語

システム言語(英語、韓国語、日本語)を選択する事ができます。

バージョン

システムのハードウェア及びファームウェアバージョンを確認する事ができます。



USBメモリを利用してバージョンをアップグレードする事ができます。

手順 USBメモリでのアップグレード方法

- 1) FAT32でフォーマットされたUSBメモリを準備します。
- 2) 該当F/Wが入ったUSBメモリをシステムのUSBポートへ挿入してください。
- 3) 『スキャン』をクリックすると、システムが該当のUSBメモリを認識してブランドと機種を表示します。
- 4) 新しいバージョンのファイル名を確認し『開始』をクリックします。

※互換性の関係で認識されない場合がございます。

[FTPサーバーを利用した自動アップグレード]

- ① “FTP”を選択します。
- ② FTPサーバー情報(ホストアドレス、ユーザー/パスワード)を入力します。
- ③ 『チェック』をクリックして、時間を設定した後、『保存』をクリックします。
- ④ システムは定期的にFTPに保存している最新ファームウェアをチェックします。
FTPサーバーに更新されたファームウェアがある場合、メッセージが表示されます。
- ⑤ 『開始』をクリックすると、アップグレードが開始され、完了後に再起動します。

※外付けハードディスク/FTPサーバーでのアップグレードは購入先へお問い合わせください。

IPアドレス

IPアドレスを表示します。

IPアドレスの設定は、メニュー>>ネットワーク>>ネットワークで設定できます。

自動IP

自動IPにチェックを入れると、NVR自体がルーターの役割を持ち、IPを割り当てる事ができます。

※ローカルでのみ使用可能です。

MACアドレス

機器の固有番号の情報となります。

システムモニター

システム状態、システム性能モニターを確認する事ができます。

キーボード音

システム操作時のキーボード操作音をオン/オフする事ができます。

※機種によって動作しない場合があります。

3.1.2. ユーザー

システム管理者(admin/administrator)は全ての機能を使用できる権限を持ちます。
管理者はユーザーを追加/削除できて、各ユーザーの権限を与える事ができます。
※権限を制御した機能を実行すると『許可されない機能です。』と表示されます。

✕ adminを含むユーザー数は最大16名です。

モ

ユーザー権限

管理者(admin)はシステムの各機能に対して、ユーザー権限を制御する事ができます。
追加されたユーザーで遠隔ソフトから接続する場合にも権限が適用されます。
※ユーザー権限がない場合は、操作ができません。



① ユーザー追加/変更

新しいユーザーを追加するために『追加』をクリックすると、下図の画面が表示されます。
ユーザー、説明、パスワードを入力して、ユーザーに与える権限を設定する事ができます。
ライブ&再生でチャンネルを選択すると、監視出来るチャンネルを制限する事ができます。
ユーザーの権限を変更するには『変更』をクリックして、追加時と同様に設定します。

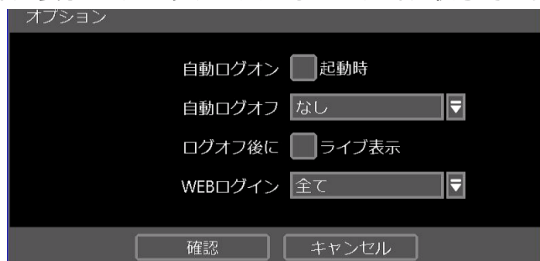


② ユーザー削除

リストから削除するユーザーを選択し、『削除』をクリックします。

③ オプション

- ※ “自動ログオンの起動時”にチェックを入れると、起動時（再起動）にIDとパスワードの入力をせずに操作する事ができます。
- ※ “自動ログオフ”の時間を設定すると、設定した時間内で操作がない場合、自動ログオフされます。
- ※ “自動ログオフ後にライブ表示”にチェックを入れるとログオフ状態でもライブ映像が表示されます。



3.1.3. ディスプレイ

自動切換時間、画面解像度、OSD、スクリーンセーバーなどを設定する事ができます。



OSDメニュー

左上図の左上にカメラ名称が表示されます。

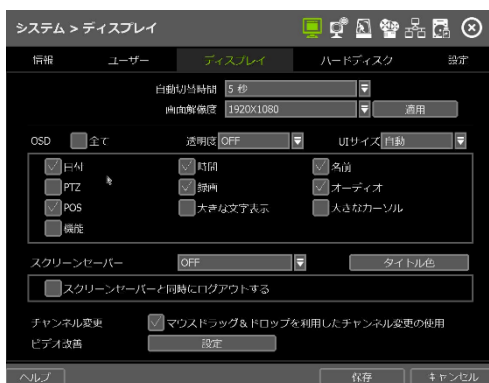
※詳細は47頁をご確認ください。

左上図の右上に録画マークが表示されます。

※録画アイコンの詳細は27頁をご確認ください。

左上図の下に日時が表示されます。

ビデオロスが発生すると、右上図のように『映像信号損失』が表示されます。



自動切換時間

自動切換える時間を設定する事ができます。

画面解像度

4つの解像度から選択する事ができます。

1024x768、1280x720、1920x1080、3840x2160(HDMI)

※モニターの解像度がシステム設定の解像度より低い場合、システムの画面が表示されない場合があります。

OSD

画面上に表示させるOSDメニューを選択する事ができます。

(日付、時間、名前、PTZ、録画、オーディオ、POS、大きな文字、大きなカーソル)

透明度

メニュー画面の透明度を選択することができます。設定すると、メニュー画面が透過され、その後ろの画面を見ることが可能となります。

UIサイズ

メニュー画面などのUIの大きさを、自動、1倍、2倍から選択し、変更することが可能です。

スクリーンセイバー

設定した時間内に操作をしなかった場合、画面を隠す事ができます。

※第三者による覗き見を防止する効果があります。

“スクリーンセイバーと同時にログアウトする”にチェックを入れると、スリープと同時にログオフする事ができます。

チャンネル変更

チェックを入れると、マウスドラッグ&ドロップでチャンネル位置を移動させる事ができます。

ビデオ改善

映像の明るさ、対比、鮮明度や色合いなどを設定する事ができます。

3.1.4. ハードディスク

ハードディスクのモデル、容量、残容量などの情報を確認する事ができます。



ハードディスク状態チェック

状態項目の『チェック』をクリックすると、ハードディスクのモデル番号、ポート、シリアル番号、容量、S.M.A.R.T、使用時間、温度の様々なハードディスク状態を確認することができます。



HDD状態確認		
モデル番号	WDC WD30PURZ-85G	
ポート	SATA: 2 (1:0:0:0)	
シリアル番号	WD-WCC4N5AxFCF0	
容量	2793.0 GB	
S.M.A.R.T	支援する	
属性名	現在状態	しきい値
BADブロック	0 %	100%
使用時間	662 (d)	-
温度	33 °C	-

同時録画グループ

設定するハードディスクを選択して、メイン、ミラーリング設定を行う事ができます。

フォーマット

ハードディスクに保存したデータを削除することができます。

データを削除するハードディスクリストのチェックボックスにチェックを入れて『フォーマット』をクリックします。

※一度削除したデータの復元は出来ませんので、ご注意ください。

※フォーマットに必要な時間はハードディスク容量によって異なります。

DISK FULL

容量がいっぱいになった場合、『上書き』及び、『録画中断』を設定することができます。

※上書き：古くなったデータを消しながら新しいデータを書き込みます。

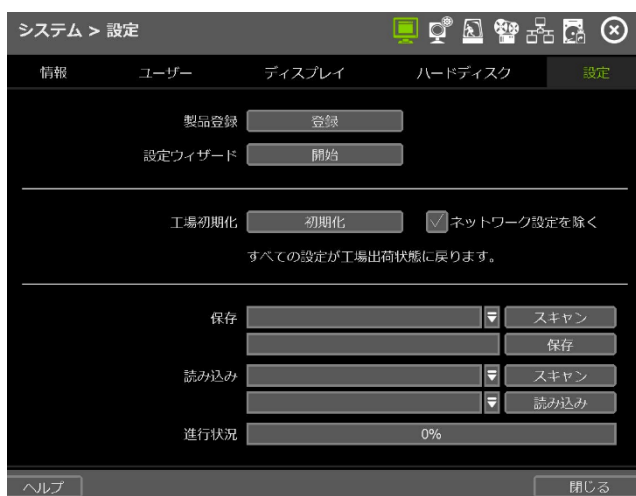
※録画中断：録画を中断します。

自動削除

設定した日にち以上のデータは自動的に削除をします。最大366日まで設定することができます。

例) 3日に設定した場合、直前の3日間以外のデータは削除されます。

3.1.5. 設定



工場初期化

『初期化』をクリックすると、システムの設定値が工場初期値に戻ります。
“ネットワーク設定を除く”にチェックを入れないとネットワーク設定まで初期値に戻ってしまいます。
ネットワークが繋がらなくなりますので、ご注意ください。
※録画データは初期化されません。

保存/読み込み

設定値を保存・適用する事ができます。
※保存：システムの設定値をUSBメモリに保存する事ができます。
※読み込み：USBメモリに保存したシステムの設定値を適用する事ができます。
※設定呼出は同じファームウェアバージョンでのみ適用する事ができます。

3.2. デバイス

3.2.1. カメラ

システムに接続されているカメラに関する各種設定を行います。



名前

各チャンネルに表示されるカメラタイトルを登録・変更する事ができます。

カメラタイトル設定はシステムと遠隔ソフトに共通で適用されます。

※入力文字数は最大16文字となり、アルファベット、数字、ひらがな、カタカナでの入力が可能です。

※漢字変換は遠隔側でのみ可能です。

未表示

『未表示』をONにした場合、該当チャンネルを管理者以外のユーザーはライブや再生画面を監視する事ができません。

『未表示』設定はNVRと遠隔ソフトに共通で適用されます。

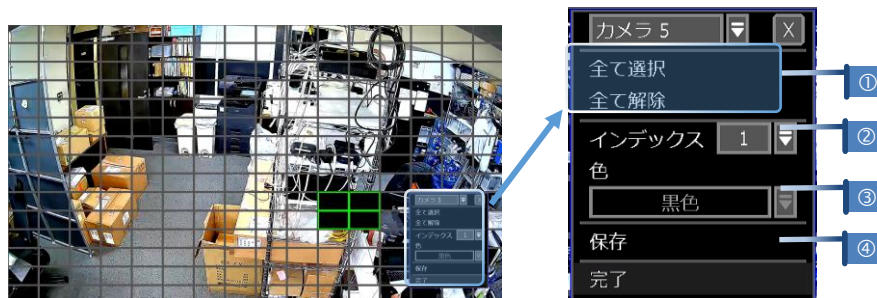
プライバシー設定

チャンネルの特定範囲を録画データやライブで見られないようにマスキング設定する事ができます。

※カメラとの互換性によって、機能を使用出来ない場合があります。

『設定』をクリックすると、下図のように範囲を選択する画面が表示されます。

範囲選択は画面上でドラッグ&ドロップして範囲を選択します。



① マスキングする範囲を“全て選択”と“選択解除”をする事ができます。

② マスキング箇所を4箇所まで選択する事ができます。

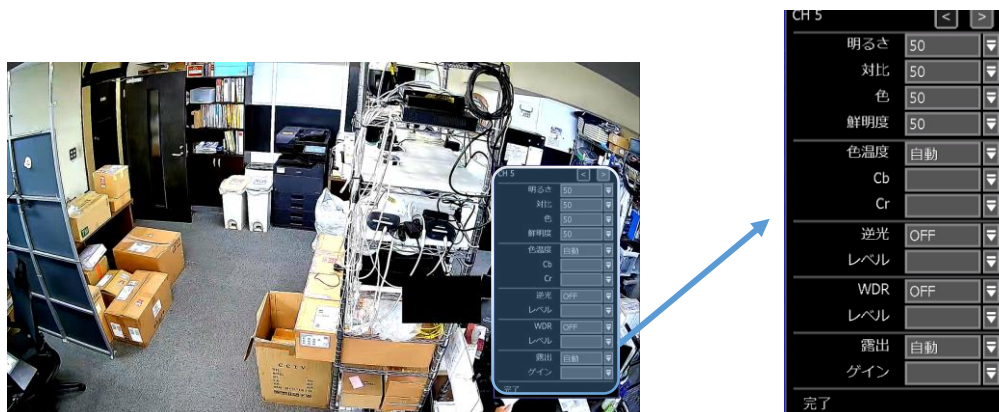
③ マスキングの色を選択できます。

④ 設定したデータを保存します。

カメラ設定

カメラの明るさ、対比、色などを設定できます。

※カメラの機種によって、設定出来る項目が異なります。



設定入れて『完了』をクリックすると、設定が完了します。

3.2.2. オーディオ

音声の入力、出力を設定する事ができます。

音声出力はライブ出力項目を"オーディオ出力1"に設定します。

※ライブ出力は1つのチャンネルのみ設定が可能で、複数の同時出力は出来ません。



双方向オーディオ使用にチェックを入れると遠隔(遠隔ソフト及び携帯アプリ)との両方向での音声対話が可能となります。NVR側はマイク内蔵カメラまたは集音マイクを設置する必要があります。

※現在の遠隔ソフトバージョンは双方向オーディオ機能に対応しておりません。

3.2.3. PTZ

PTZに関する各種設定を行います。



プロトコル

システムに接続されているPTZカメラのプロトコルを選択します。

※カメラの機種や接続方法によってプロトコルが異なります。

ボーレート

システムに接続されているPTZカメラのボーレートを選択します。

2,400bpsから57,600bpsまで選択する事ができます。

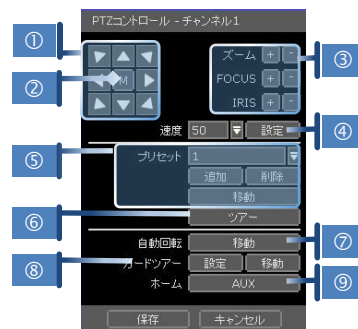
アドレス

システムに接続されているPTZカメラのアドレス(ID)を選択します。

コントロール(※PTZカメラの機種によって機能は異なります。)

『設定』をクリックすると、PTZカメラのコントロールメニューが画面に表示されます。

- ① カメラを上下左右へ移動させる事ができます。
- ② PTZカメラのOSDメニューが画面上に表示され、方向キーでOSDメニュー設定ができます。
- ③ ズーム、FOCUS、IRISの調整ができます。
- ④ PTZの反応速度(0~100)を調整する事ができます。
- ⑤ プリセット



追加：方向キーやズームなどを調整して、設定したい方向にカメラ方向を合わせます。『追加』をクリックして、プリセット番号を入力後、『ENTER』をクリックします。最大255まで登録できます。

削除：削除したいプリセット番号を選択後、『削除』をクリックしてプリセットを削除します。

移動：移動したい位置のプリセット番号を選択後、『移動』をクリックすると選択したプリセット位置に移動します。

- ⑥ 登録した全てのプリセットを繰り返し移動します。
- ⑦ カメラを決まった方向に360度回転します。
- ⑧ 設定した特定のプリセットのみ指定の順番及び間隔で移動します。

設定：設定するプリセットの位置に滞在時間を設定した後、プリセットを選択して>>ボタンで自動切り替えリストに追加します。“プリセット1(5sec)”の表記で追加されます。“プリセット番号(時間)”を意味します。

削除：プリセットを削除する場合、削除するプリセットを選択後、<<ボタンをクリックすると、自動切り替えリストから削除されます。

- ⑨ 常に表示させておく方向(ホームポジション)を設定します。



3.2.4. キーボード

様々なキーボードコントローラー(TBT、HI-SHARP、WTX-1200A、MARUSTAR、DWKB-100)での制御が可能です。接続されているキーボードの情報を設定します。

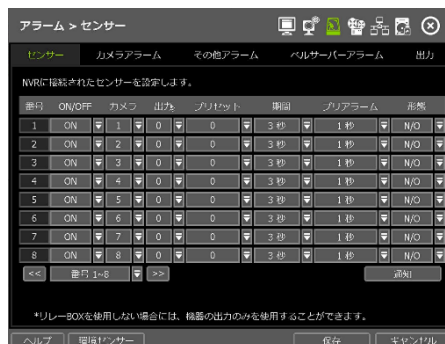
※USBをサポートするモデルの場合、“USBキーボード使用”にチェックを入れてください。



3.3. イベント

3.3.1. センサー

センサーを入力して、カメラ番号、出力(アラーム出力)、プリセット番号、期間(保持期間)、プリアラーム(事前録画)、形態を設定する事ができます。



ON/OFF

センサーの使用可否を設定する事ができます。

カメラ

センサー入力と連動し録画するカメラを選択する事ができます。

出力

センサー入力と連動し出力するリレーを選択する事ができます。

プリセット

センサー入力と連動し移動するプリセット番号を選択する事ができます。

期間

センサー発報後の録画期間を設定する事ができます。(1秒～15秒)

※最大30コマでの記録が可能となります。

プリアラーム

センサー発報前の録画期間を設定する事ができます。(なし、1～5秒)

※最大30コマでの記録が可能となります。

形態

入力するセンサーのタイプを設定する事ができます。

※ N/O(ノーマルオープン)、N/C(ノーマルクローズ)

通知

センサー発報時に内部ブザー、ポップアップの各通知機能を設定する事ができます。

3.3.2. カメライベント

モーションが発生したカメラに対し連動するアラーム出力、期間、プリアラーム、モーション領域を設定する事ができます。



ON/OFF

モーションの使用可否を設定する事ができます。

出力

モーションと連動する出力を選択する事ができます。(0,1)

期間(ポストアラーム)

モーション発生後の録画期間を設定する事ができます。(1秒～15秒)

※最大30fpsでの記録が可能となります。

プリアラーム

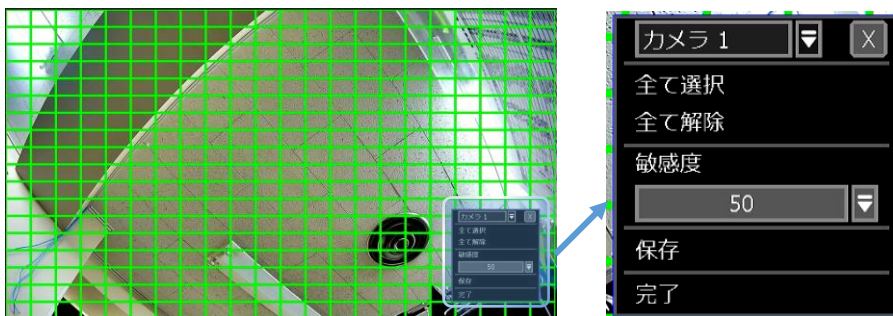
センサー入力前の録画期間を設定する事ができます。(なし、1～5秒)

※最大30fpsでの記録が可能となります。

モーション領域

モーション検知範囲と感度を設定する事ができます。

※カメラとの互換性によって、機能を使用出来ない場合があります。



✖ モーション領域と感度は設置現場の環境を考慮し、設定してください。

モ

通知

モーション発生時に内部ブザー、ポップアップの各通知機能を設定することができます。

設定コピー

接続されている全てのカメラに設定値をコピーします。

コピー元：設定をコピーするチャンネルを選択します。

属性値：コピーを反映させる設定内容を選択します。

(ON/OFF、OUT(出力)、期間、ブリアラーム

ム)

コピー先：コピーする設定を反映させるチャンネルを選択します。



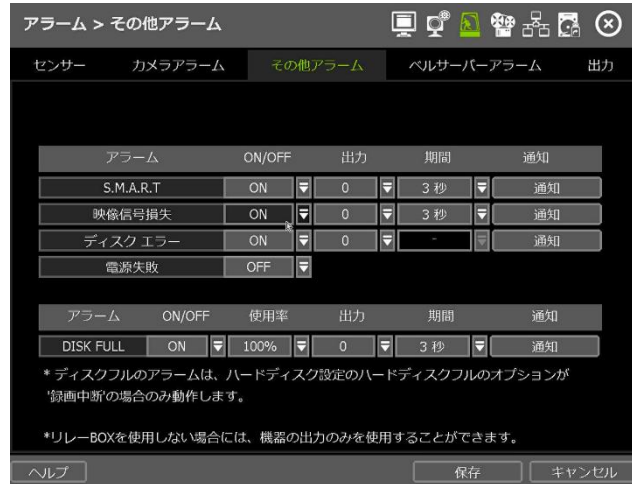
イベントモニター

各接続方法別(ONVIF、RTSP、HTTP、FOCUS PROTOCOL)にモーション(M)とセンサー(S)の動作確認をします。数字は検査回数を表示します。

チャンネル	ONVIF	RTSP	HTTP	プロトコル
CH1	0	0	0	8 (M)
CH2	0	0	0	0
CH3	0	0	0	6+ (M)
CH4	0	0	0	6S (M)
CH5	0	0	0	0
CH6	0	0	0	0
CH7	0	0	0	0
CH8	0	0	0	0
CH9	0	0	0	0

3.3.3. その他イベント

S.M.A.R.T、映像信号損失、ディスクエラー、電源失敗、DISK FULLの様々なシステムに対するアラーム出力の使用可否や通知設定をする事ができます。



S.M.A.R.T

ハードディスクにS.M.A.R.T情報から異常を検知した場合、リレー出力及び、内部ブザーや、連動したカメラをポップアップ表示させる事ができます。

映像信号損失

NVRに接続されているカメラの接続が切れた場合、リレー出力及び、内部ブザーや、連動したカメラをポップアップ表示させる事ができます。

ディスクエラー

ハードディスクに録画が出来ない状況になった場合、リレー出力及び、内部ブザーや、連動したカメラをポップアップ表示させる事ができます。

電源失敗

電源オフ状況になった場合、リレー出力させる事ができます。

DISK FULL

ハードディスクがいっぱいになった場合、リレー出力及び、内部ブザーや、連動したカメラをポップアップ表示させる事ができます。

※システム>>ハードディスクのDISK FULL設定が“上書き”になっている場合は反応しません。

3.4. 録画

3.4.1. カメラ登録/管理

カメラの登録、削除、設定を行います。

下図のように『簡単モード』と『詳細設定』があります。

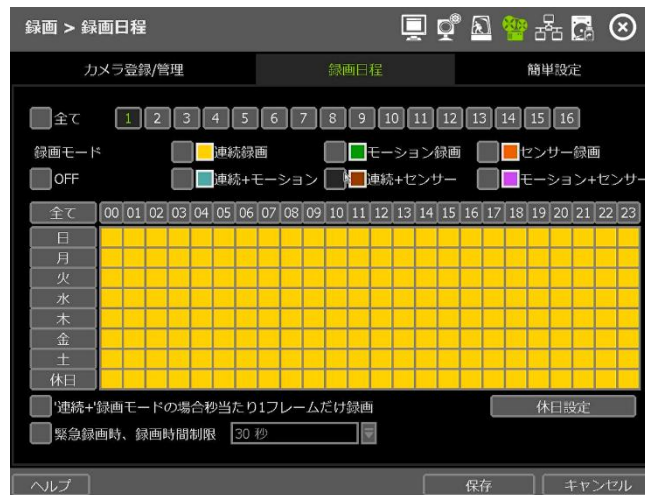
システム構成によって2つ設定の中から選択してください。



3.4.2. 録画日程

チャンネルごとに録画スケジュールを設定することができます。

※録画記録保存日数は、録画計算表をご参照ください。



チャンネル

録画スケジュールを設定するチャンネルを選択します。

全体にチェックを入れると全てのチャンネルの録画スケジュール設定が一括適用されます。

録画モード

希望の録画モード(連続録画、モーション録画、センサー録画、連続+モーション、連続+センサー、モーション+センサー)にチェックを入れた後、日程表にマウスドラッグでスケジュールを設定します。

オフ

録画しません。

黄色(連続録画(C))

常時(連続)録画します。

緑色(モーション録画(M))

画面上に動きが発生すると録画します。

※メニュー>>イベント>>カメライベントのモーション領域で設定を行ってください。

オレンジ色(センサー録画(S))

センサーが発泡すると録画します。

※メニュー>>イベント>>センサーでセンサーの設定を行ってください。

青色(連続+モーション録画(C)+(M))

普段は3FPSで連続録画します。

モーションイベントが発生した際はカメラで設定したFPSで録画します。

※メニュー>>イベント>>カメライベントでモーション領域の設定を行ってください。

茶色(連続+センサー録画(C)+(S))

普段は3FPSで連続録画します。

センサーが発報した際はカメラで設定したFPSで録画します。

※メニュー>>イベント>>センサーでセンサーの設定を行ってください。

ピンク色(モーション+センサー録画(M)+(S))

モーションとセンサーが発生した際に録画します。

※メニュー>>イベント>>センサーでセンサーの設定を行ってください。

※メニュー>>イベント>>カメライベントでモーション領域の設定を行ってください。

“連続”+録画モードの場合秒当たり1フレームだけ録画

『“連続”+録画モードの場合秒当たり1フレームだけ録画』にチェックを入れると連続録画時は1FPSで録画をして、イベント発生時はカメラで設定したFPSで録画を行います。

緊急録画時、録画時間制限

緊急録画は録画設定に関わらず、常に最高値の設定（解像度、FPS、画質）で録画を行います。

そのため、録画保存日数が極端的に短くなる場合があります。

“緊急録画時、録画時間制限”にチェックを入れて時間を選択すると、指定した時間後には緊急録画モードが解除されます。

休日設定

最大32個まで休日の録画スケジュールを設定する事ができます。

日付、説明(任意)を設定後、『追加』をクリックして設定を行います。

削除する場合は、削除する日付を選択後、『削除』をクリックすると、削除されます。

3.4.3. 簡単設定

NVR側で複数のカメラを同一設定に一括反映させる事ができます。

1. カメラ機種ごとに設定する方法

- ① 方法の項目を『モデル』に選択します。
- ② モデルの項目で設定するカメラ機種を選択して、『ストリーム読み取り』をクリックします。
- ③ ストリームの項目で『情報取得』をクリックします。
- ④ 解像度、フレーム、ビットレート、画質、GOPを設定後、『保存』をクリックすると、設定が適用されます。

2. 複数の機種を同一設定する方法

- ① 方法の項目を『カメラ複数選択』に変更後、選択をクリックします。
- ② 設定するモデルを“ON”に変更して、保存をクリックします。
- ③ カメラの項目で『ストリーム読み取り』をクリックします。
- ④ ストリームの項目で『情報取得』をクリックします。
- ⑤ 解像度、フレーム、ビットレート、画質、GOPを設定後、『保存』をクリックします。

3.5. ネットワーク

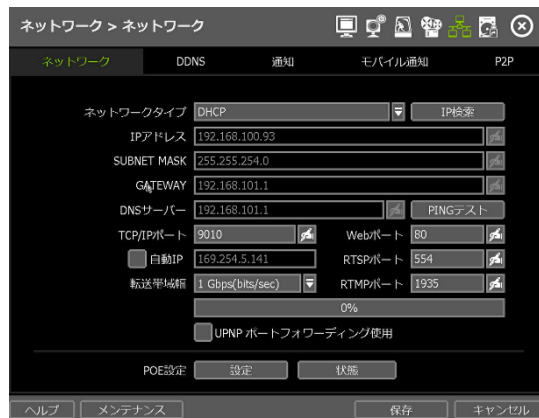
ネットワーク設定ではNVRのネットワーク設定及び遠隔監視に必要な設定を行います。

注) 本製品は技術基準適合証明を受けておりません。

本製品を電気通信回線設備（インターネット等）に直接接続して使用しないでください。

本製品をご使用の際は、ルーターなどを介してご使用ください。

3.5.1. ネットワーク



ネットワークタイプ

“DHCP”と“STATIC IP”を選択してください。

IPアドレスの指定がある場合、『STATIC IP』を選択し、IPアドレス・SUBNET MASK・GATEWAY・DNSサーバー直接入力します。

IPアドレスの指定がない場合、『DHCP』を選択し、『IP検索』をクリックして、IPアドレス・SUBNET MASK・GATEWAY・DNSサーバーを取得します。

※ルーターの再起動などでIPアドレスが変わる場合、遠隔接続が出来なくなる可能性があります。

IPアドレス

IPアドレスの指定がある場合：STATIC IP

IPアドレスの指定がない場合：DHCP

SUBNET MASK

システムが参加するネットワークのサブネットマスクを設定します。

一般的には255.255.255.0です。

GATEWAY

デフォルトゲートウェイを設定します。

ルーターによってゲートウェイは異なります。

IPアドレスの指定がある場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

IPアドレスの指定がない場合、DHCP設定では自動的にゲートウェイが表示されます。

DNSサーバー

DNSサーバーアドレスを設定します。

DDNS、E-MAIL通知やNTPサーバーを利用するためにはDNSサーバーアドレスが必要です。

IPアドレスの指定がある場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

IPアドレスの指定がない場合、DHCP設定では自動的にDNSサーバーが表示されます。

※PINGテストをクリックするとネットワーク通信テストを行います。

TCP/IPポート

遠隔監視で使用するポート番号を設定します。

※初期値：9010

※ポート開放が必要です。

ポート開放方法はルーターによって異なります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

WEBポート

ウェブブラウザでの遠隔監視で使用するポート番号を設定します。

※初期値：80

※80番以外の場合はポート開放が必要です。

ポート開放方法はルーターによって異なります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

自動IP

自動IPにチェックを入れると、レコーダー自体がルーターの役割を持ち、IPを割り当てる事ができます。

※ローカルでのみ使用可能です。

転送帯域幅

データの転送量を25kbps～1Gbpsまで制限をかける事ができます。

※あくまで平均値であり、設定値を超える場合があります。

UPnP (Universal Plug and Play)

チェックを入れると、UPnP機能に対応するルーターの場合、ポートを自動的に開放する事ができます。

※ネットワーク管理者にお問い合わせをしてからご使用ください。

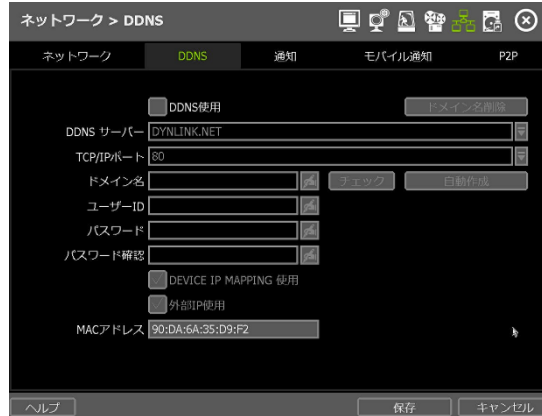
PoE設定

自動IPの適応とゲートウェイの変更が可能です。

“状態”を選択するとPoEタイプ(自動、通常、タイプH)の選択と、PoEポートのリセットが可能です。

3.5.2. DDNS

フリーDDNSサーバーまたは、メーカーで運営するDDNSサーバー(dynlink.net)を使用して、遠隔地から監視する事ができます。



- ① DDNS使用にチェックを入れてください。
- ② DDNSサーバー：DYNLINK.NET自動設定
- ③ TCP/IPポート：80番自動設定
- ④ ドメイン名：自動作成をクリックすると、ドメイン名が自動作成されます。
チェックをクリックして、ドメイン名登録可能のメッセージが表示されたら、OKをクリックしてください。
※手動で作成する事もできます。



※ドメイン名は遠隔接続登録に必要なため、控えておいてください。
※設定完了後、必ず『保存』をクリックしてください。

3.5.3. 通知

E-MAILを設定すれば、各イベント情報がメールで通知されます。



E-MAIL通知

イベント発生時のE-MAIL通知に関する各種設定を行います。

イベントが発生した際、登録したメールアドレスに通知する事ができます。

『E-MAIL通知』にチェックを入れて使用しますが、メール設定が必要です。

センサー、モーション発生時はメールに静止画を添付して送信する事ができます。

通知を受けるメールのSMTPサーバー設定

- SMTPサーバー：送信メールサーバーを設定します。
- ポート：送信メールサーバーが使用するポートを設定します。
- ユーザー名：送信メールサーバーのユーザー名を設定します。
- パスワード：送信メールサーバーのパスワードを設定します。
- アドレス：送信元メールアドレスを設定します。
- 間隔：メールを送信する間隔が設定できます(なし、1分～60分)
- オプション：認証を使用するかしないかを選択することができます。
※ほとんどの場合は、認証を使用します。
- 繋がり：送信時の認証方法をSSL、TSLとそれ以外(安全でない繋がり)から選択できます。
- E-MAILテスト：E-MAILの送信テストを行います。

メ センサーとモーションの通知の場合、録画設定および録画スケジュールの設定が必要です。

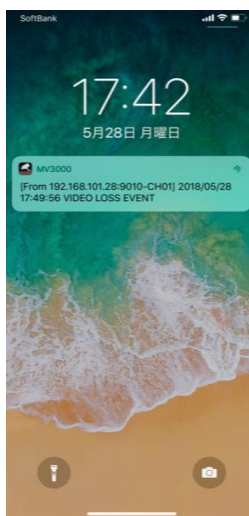
モ

3.5.4. モバイル通知

NVRで発生したイベントを登録しているスマートフォンに通知する事ができます。
モバイル通知使用にチェックを入れて、イベントの種類と通知間隔(10秒~10分)を選択してください。



モバイル通知画面



※スマートフォンに専用アプリ『MV3000』をインストールして、専用アプリ内のメニューでモバイル通知設定が必要です。

3.5.5. P2P

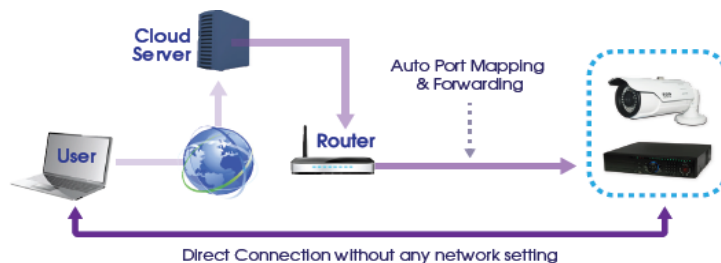
P2Pサーバーを利用すれば、難しいネットワーク設定を行う事なく、簡単に登録することができます。スマートフォンの専用アプリMV3000でQRコードをスキャンするだけでNVRを登録出来、監視することができます。



- ① IPアドレスを設定の上、“P2P使用”にチェックを入れてください。
- ② 『ID読み取り』をクリックすると、QRコードが表示されます。
- ③ スマートフォンの専用アプリ『MV3000』を起動して『追加』を押します。
- ④ “P2P使用”にチェックを入れて『QRコードスキャン』を押すと写真撮影モードに変わります。
- ⑤ QRコードを撮影すれば、登録は完了します。
- ⑥ ポート、ウェブポート、ID、パスワードを入力して『保存』を押します。

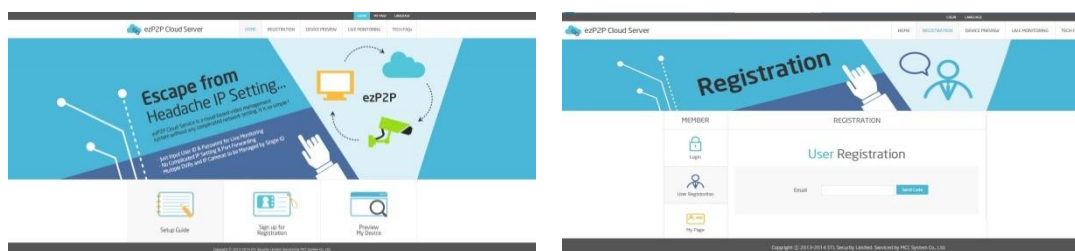
P2P クラウドサーバー

- ✕ ezP2Pクラウドサーバーを利用し、簡単にNVRに接続することができます。ユーザーのE-MAILをezP2P™クラウドサーバー(www.ezp2p.com)にログイン(登録)が必要です。



登録(ezP2P™ クラウドサーバー)

ezP2P™クラウドサーバーサイト(www.ezp2p.com)にE-MAILとパスワードを登録してください。



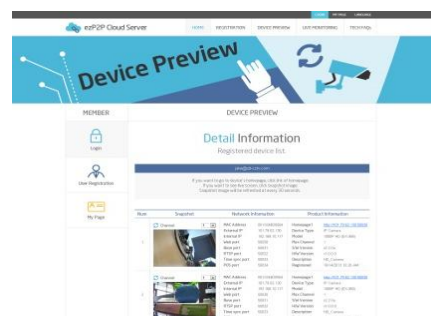
登録(システム)

- ① 「EZP2P.COM登録」にチェックを入れてください。
- ② ezP2P™クラウドサーバー(www.ezp2p.com)に登録したE-MAILとパスワードを入力します。
- ③ 『保存』をクリックすると、システムがezP2Pクラウドサーバーとの通信を始めます。



接続 (ezP2P™ Cloud Server)

ezP2P™クラウドサービスサイト(www.ezp2p.com)からログインします。『Preview My Device』を選択したら、同一のメールアドレスで登録した全てのシステムリストがイメージと一緒に表示されます。



- 警告** P2Pクラウド機能の使用が制限される場合があります。
- 1) ルーターがUPnP機能をサポートしない場合、またはUPnP機能がオフになっている場合
 - 2) ファイアウォールの設定がされている場合(ポート番号50,000~が解放されていなければなりません。)
- ※正しく動作しない場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

3.6. バックアップ

3.6.1. バックアップ

録画データをバックアップする事ができます。

USBメモリ、外付ドライブ、PCでの遠隔バックアップする事ができます。



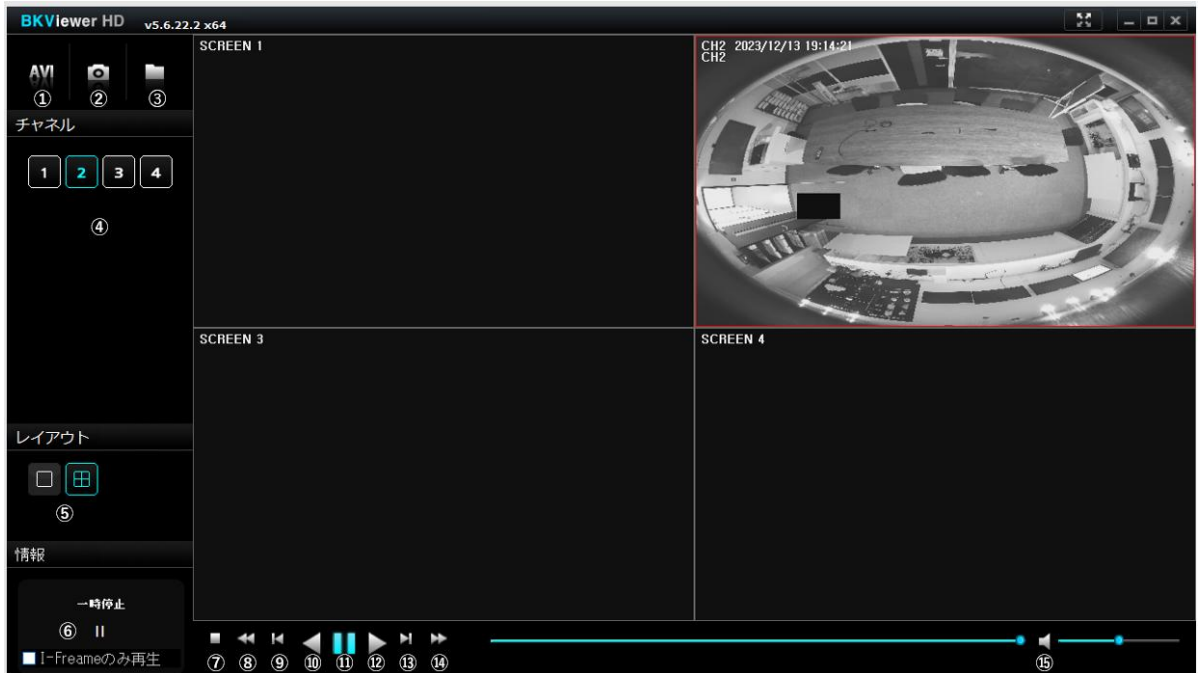
-
- 手順**
- 1) FAT32でフォーマットされたUSBメモリを準備します。(USB2.0)
 - 2) USBメモリをシステムのUSBポートへ接続します。
 - 3) バックアップするカメラ、開始時刻、終了時刻を選択します。
 - 4) デバイスのスキャンをクリックしてUSBメモリを認識させます。
 - 5) データサイズの計算をクリックして、バックアップデータの容量を計算します。
※ビューアー追加にチェックを入れると専用ビューアーソフトでバックアップします。(推奨)
 - 6) 開始をクリックすると、バックアップが開始されます。
 - 7) バックアップ完了が表示されたらOKをクリックします。
-

- 注** バックアップ中、NVRシステム操作をしないでください。
- 注意** バックアップ中、USBメモリを抜かないでください。
パーティションとパスワード設定のUSBメモリは使用出来ません。
-

3.6.2. バックアップした録画データをPCで見る

バックアップしたデータをPCで見る事ができます。

- 1) バックアップデータが入っているUSBメモリをPCに接続します。
- 2) ["設定したNVR名"_"シリアルナンバー"]ファイルをダブルクリックします。
例：NVR名→NVR1 シリアルナンバー→11AA11AA11AA の場合
ファイル名は [NVR1_11AA11AA11AA] となります。
- 3) ファイルを開くと以下の画面が表示されます



- ① AVI変更：AVI方式に変換して保存出来ます。
- ② スナップショット：選択したチャンネルの静止画を保存します。
- ③ ファイルオープン：バックアップデータをドライブ及びフォルダーから検索出来ます。
- ④ チャンネル：選択したチャンネルを単画面で表示します。
- ⑤ レイアウト：表示するチャンネル数やレイアウトを変更できます。
- ⑥ 情報：再生スピードの情報を表示します。
- ⑦ 開始位置：バックアップデータの最初の時間に戻ります。
- ⑧ コマ戻し：コマ戻しが出来ます。
- ⑨ 逆再生：映像の逆再生を行います
- ⑩ 一時停止：映像が一時停止します。
- ⑪ 再生：通常再生を行います。
- ⑫ コマ送り：コマ送りが出来ます。
- ⑬ 再生倍速：再生の倍速速度を変更します。
- ⑭ 音声：音声の有無及び音量を設定します。

4. ウェブモニタリング

IE(Internet Explorer)などのウェブブラウザでNVRを遠隔監視できます。

4.1. 接続方法

インターネットに接続可能なPCで、Internet Explorer® (8以上)を起動した後、システムのIPアドレスもしくは登録したドメイン（例：<http://soon.dynlink.net>）を入力します。

初期接続時のみActiveX®のダウンロードとインストールの許可を求める画面が表示されます。

ActiveX®のダウンロードとインストールをしてください。

ActiveX® インストール後、ウェブログイン画面が表示されます。

ユーザーIDとパスワードを入力するとモニタリング画面が表示され、遠隔モニタリングを行う事が出来るようになります。



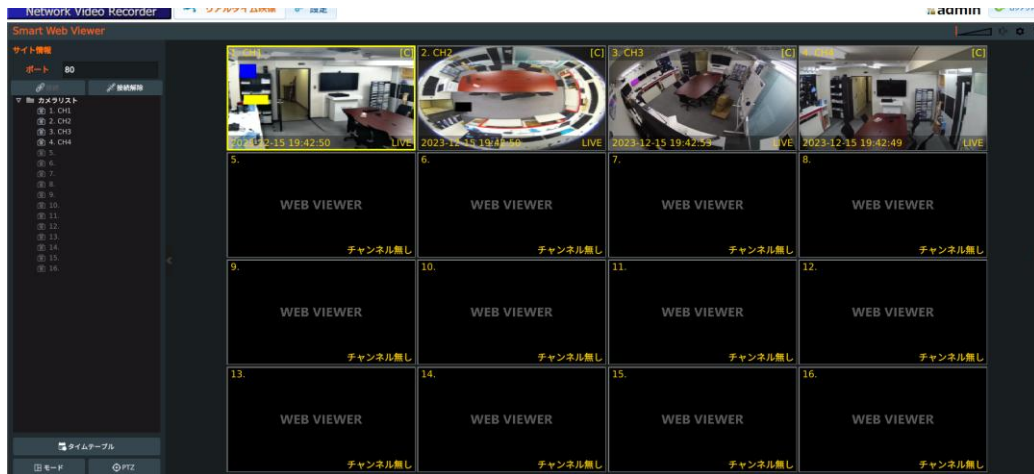
※ システムのWEBポートを80番以外に設定したときは、IPアドレスもしくはシステムに登録したドメイン名の後にコロン（:）とポート番号を入力してください。（例：<http://soon.dynlink.net:8080>）

※ ID、パスワードは接続するNVRのID、パスワードとなります。

4.2. 4.2. ウェブ監視

ウェブブラウザからライブ表示・データ再生・設定変更ができます。

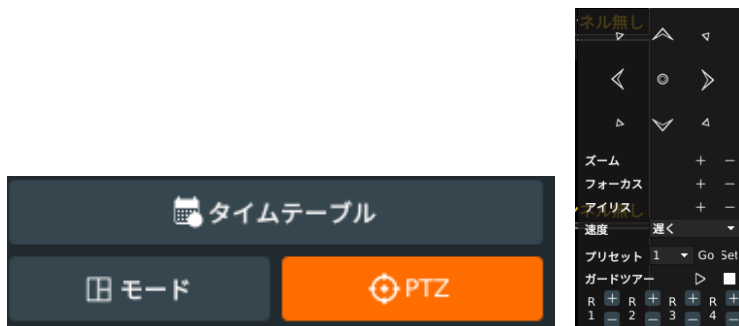
4.2.1. ライブ画面



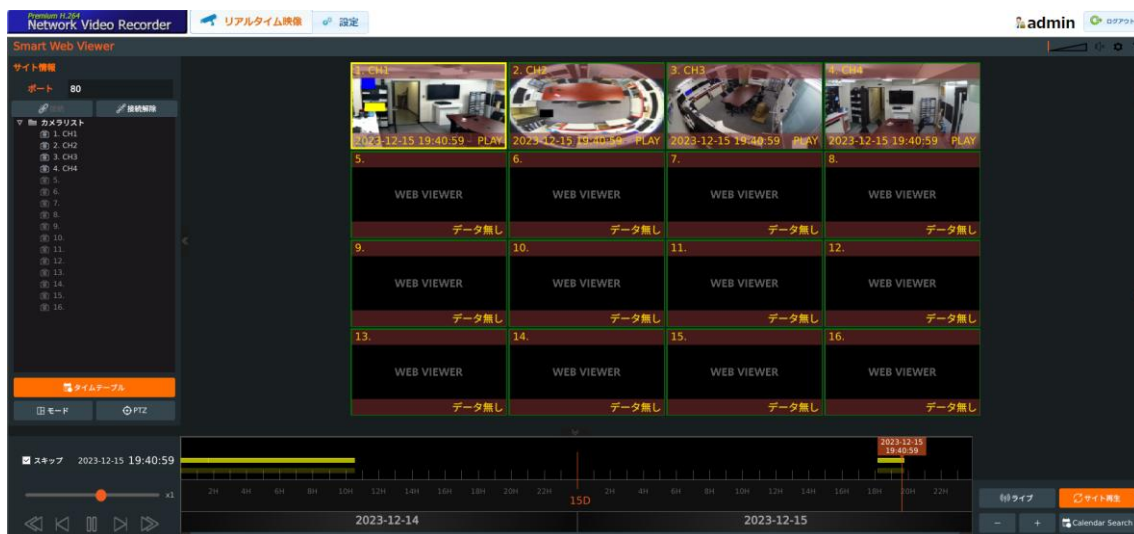
分割モード変更



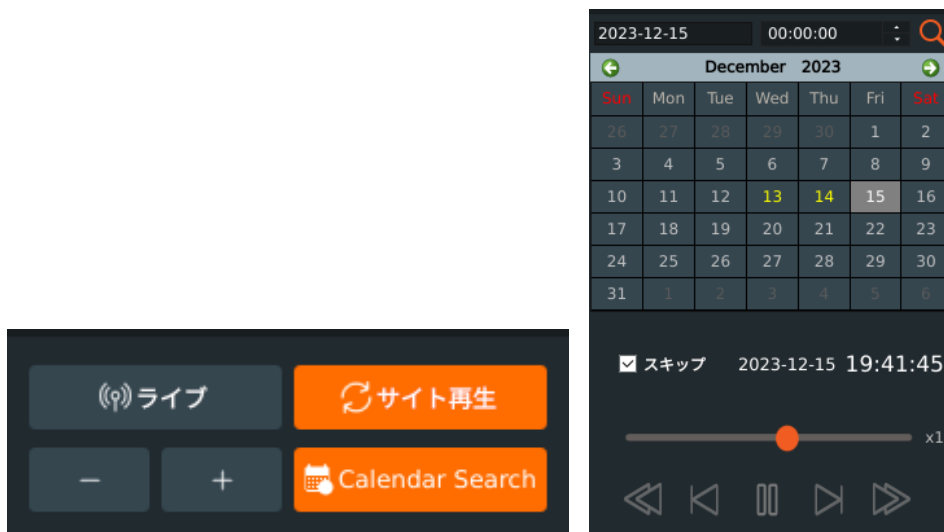
PTZ制御



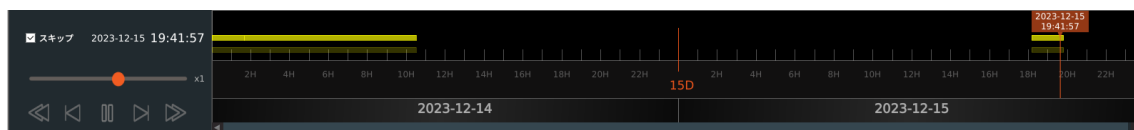
4.2.2. 再生画面



「calendar search」カレンダーから日付・時間を選択し、『検索』ボタンをクリックします。



タイムバーから時間を移動する事ができます。



4.2.3. 設定画面

NVR本体の設定をすることができます。
※一部設定変更出来ない項目もあります。

The screenshot displays the configuration page of a Network Video Recorder (NVR). The interface is in Japanese and includes a sidebar menu on the left and a main configuration area on the right. The sidebar menu has categories like 'システム' (System), '装置' (Device), 'イベント' (Event), '録画' (Recording), 'ネットワーク' (Network), and 'ログ' (Log). The main area is titled '設定' (Settings) and is divided into two sections: '情報' (Information) and '日時/時間' (Date/Time).

情報 (Information):

サイト名	NVR1
サイトID	1
リモートID	0
バージョン	FNR-3116 v1.5.4.0 (H/W: V0.0.0) sands JP
IPアドレス	192.168.100.156
サブIP	169.254.20.241
MACアドレス	90:DA:6A:2B:AE:3E (LAN) / 90:DA:6A:2B:AE:3F (POE)
ネットワーク音	<input checked="" type="checkbox"/> ネットワーク音

日時/時間 (Date/Time):

日付/時間	2023/12/15 10:49:30 (2023/12/15 10:49:30)
日付/時間 表示方法	YYYY/MM/DD 24 H
タイムゾーン	(GMT+9)Osaka, Sapporo, Tokyo
サマータイム	<input type="checkbox"/> DST 使用
時間調整モード/遅延	NONE 1 hour
同期化サーバー	0.0.0.0
同期化ポート	8002
NTP サーバー	pool.ntp.org

At the bottom of the configuration area, there is a '保存' (Save) button.

5. 故障かな！？

修理を依頼される前に、下記の表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らない場合や、わからないとき、この表以外の現象が起きた場合は、お買上の販売店にご相談ください。

現象	原因/対策
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">・電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？ 接続されているか確認してください。・付属の電源コードが、本機に確実に差し込まれた状態ですか？ 差し込まれているか確認してください。・カメラや接続機器の電源は入っていますか？ 電源が入っているか確認してください。・ケーブルは正しく接続されていますか？
カメラ映像がモニターに表示されない	<ul style="list-style-type: none">正しく接続されているか確認してください。・カメラのキャップなどは外れていますか？ カメラにキャップがされていないか確認してください。・モニター信号は合っていますか？ 接続した入力とモニター入力表示が合っているか確認してください。
画像がぼやける	<ul style="list-style-type: none">・カメラピントは合っていますか？ カメラレンズを確認し、ピントの調整を行ってください。・カメラのレンズにゴミやほこりがついていませんか？ カメラのレンズを確認してください。
画面が欠けている	<ul style="list-style-type: none">・接続モニターの調整を行ってください。 本製品の故障ではありません。
モニターに表示される画像、文字がぶれて見える	<ul style="list-style-type: none">・映している被写体や接続されているモニターによっては、画像、文字がぶれて見えることがあります。機器仕様になり、本製品の故障ではありません。
メニューが開けない	<ul style="list-style-type: none">・ログインしているユーザー権限は設定メニューを表示できるユーザーレベルになっていますか？ ログインしているユーザーレベルを確認してください。・リモコンに電池は入っていますか？
リモコン操作ができない	<ul style="list-style-type: none">リモコンの電池、電池残量を確認してください。・リモコンIDは合っていますか？ リモコンIDを合わせてください。・後面にあるALARM 端子に正しく接続されていますか？ ALARM 端子を確認してください。
アラームが動作しない	<ul style="list-style-type: none">・アラーム設定は正しく行われていますか？ アラーム設定を確認してください。
時刻がずれる	<ul style="list-style-type: none">・正しい、時刻で記録を残すためにも定期的に時刻設定行ってください。 ネットワークを介したNTP接続などを行うことで、時刻がずれないようなシステムを

構成することも可能です。

- ・内蔵バックアップ電池が消耗していませんか？

内蔵バックアップ電池の寿命は5年です。(使用環境により異なります)

**SATAランプが
点灯していない**

- ・HDDが故障しています。
販売店へ連絡してください。

**SATAランプが
点灯している**

- ・HDD故障の可能性があります。
販売店へ連絡してください。

**RECランプが
点灯していない**

- ・SATAランプ状態を確認してください。
SATAランプが点灯、点滅していない場合、故障の可能性があります。
販売店へご連絡ください。

録画検索ができない

- ・閲覧データは保存期間内の映像ですか？
検索からデータがあるか確認をしてください。
- ・ログインしているユーザー権限は検索が可能なユーザーレベルになっていますか？
ログインしているユーザーレベルを確認してください。

- ・録画映像が本製品に残っていますか？
検索からデータがあるか確認をしてください。
- ・USBメモリは推奨品を使用していますか？
USBメモリによっては使用できない可能性があります。推奨品をご使用ください。

- ・USBはフォーマットされていますか？
FAT32形式でのフォーマットを行ってください。

バックアップができない

- ・USBに空き容量は十分にありますか？
PC等で空き容量を確認してください。
- ・USBポートに正しく接続されていますか？
本製品はUSB2.0とUSB3.0のポート位置が異なります。
対応するポートで接続してください。
- ・外部DVDドライブにAC電源は接続されていますか？
接続されているか確認してください。

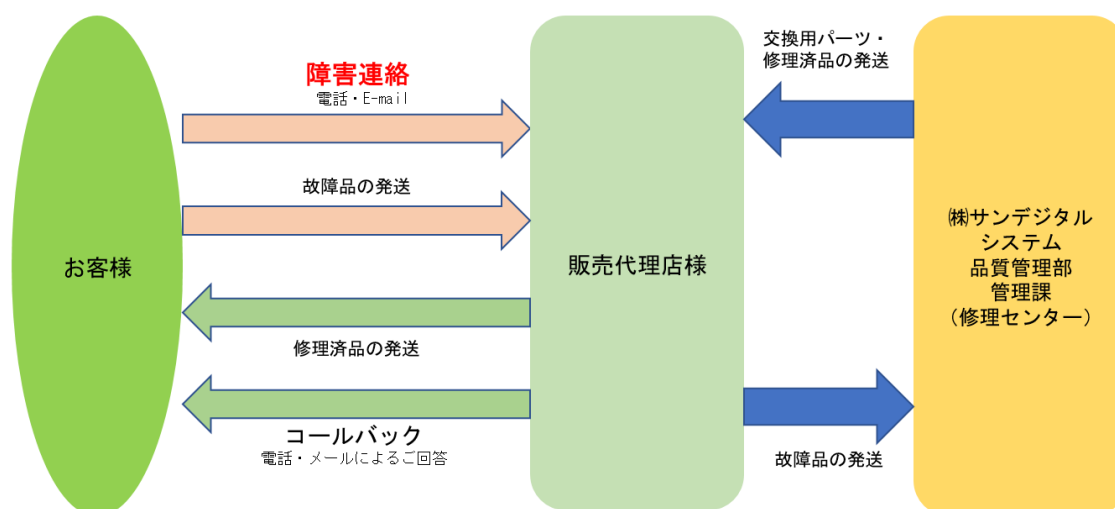
6. 補修について

補修・メンテナンスについて

- 点検・修理・補修パーツの交換に関しては、購入先弊社販売代理店にご依頼ください。
- 補修用性能部品（製品の機能維持のための部品）の保有を製造打ち切り後7年保有しております。

補修・メンテナンス体制について

- センドバック保守サービスでの対応となります。



●仕様

型式	4CH	9CH	16CH	
O / S	エンベデッド リナックス			
IP カメラ	映像入力	9CH	9CH	16CH
	プロトコル	ONVIF		
	PoEポート数	4CH	8CH	16CH
	POE規格	100Mbps, 802.3at		
映像入力	IPカメラ (Up to 4K UHD)			
映像出力	HDMI(1), VGA(1)			
分割画面	1, 4, 6, 8, 9	1, 4, 6, 8, 9	1, 4, 6, 8, 9,10,13,16	
解像度	メインストリーム最大4K & サブストリーム			
録画速度	4K / 270P		4K / 480P	
録画モード	常時, モーション, センサー, 常時+モーション, 常時+センサー, モーション+センサー / 緊急録画			
検索モード	カレンダー, 日付/時間, 最初のデータ, 最後のデータ, システムログ, イベントログ, ブックマーク, スマート検索			
再生モード	即時再生(10秒前~5分前) / 前日, 翌日 / タイムバー / 再生, 一時停止, 逆再生, 早送り, コマ送り, 逆コマ送り / 倍速(1, 2, 4, 8, 16, 32, 64, 99) / 逆倍速(99, 64, 32, 16, 8, 4, 2, 1)			
音声入力 / 出力	入力:1 / 出力:1 (ONVIF全CH対応)			
アラーム入力 / 出力	入力:4 / 出力:1		入力:8 / 出力:4	
内蔵HDD	最大1枚(10TB対応)	最大2枚(10TB対応)		
PTZコントロール	RS-485, ONVIF			
デジタルズーム	ライブ / 再生			
バックアップ	USB(2), ネットワーク			
システム操作	リモコン, マウス, ネットワーク			
ネットワーク	RJ45(1000 Mbps) - 固定, DHCP & DDNS, P2P			
外部ストレージ	E-SATA			
電源	DC48V		DC54V	
消費電力※1	10W(安定時)		20W(安定時)	
動作温度 / 湿度	0℃ ~ 40℃ / 10%RH ~ 90%RH(結露なきこと)			
外形寸法	300(W) X 249(D) X 45(H)mm	380(W) X 268(D) X 45(H)mm		
重量	約1.2kg(HDD / ODDを除く)	約1.7kg(HDD / ODDを除く)	約1.8kg(HDD / ODDを除く)	

※1：消費電力は1TB搭載を基準とし搭載容量により変動がございます。

※本仕様は予告なく変更することがあります。

保証書

[保証案内]

- 本書は、取扱説明書などの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書内容にそって無料修理をさせていただく事をお約束するものです。
- 本書の内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間中に故障が発生したときは、本書と製品をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

[保証内容]

- 保証期間はお買い上げ日から1年間です。
- 保証期間中に発生した故障に対しては保証書の内容に従って、修理または補修サービスを行います。
- 保証期間内でも、次の場合は有料修理になります。
 1. 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
 2. お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
 3. 火災、天災地変(地震、風水雪害、落雷など)、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
 4. 本書のご提示がない場合。
 5. 消耗部品の交換。
- 出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- ハードディスクの映像データ・バックアップデータはいかなる場合も保証は致しません。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。ご希望により有料で修理させていただきます。

製品保証書

製品及び機種名		
シリアルナンバー(本体カバーに記載)		
販売店	店名	
	住所	
	TEL	
お買い上げ日		
保証期間		本体1年間
お客様	お名前	
	ご住所	
	TEL	

- ▷ 保証書は再発行しません。
- ▷ 製品購入時、必ず内容をご記入してください。
- ▷ 修理に際しましては、必ず保証書をご提示ください。
- ▷ 補修用性能部品（製品の機能維持のための部品）の保有を製造打ち切り後7年保有しております。

MEMO